

LIXIL SA(R)

ミニ・レギュラー 基本・縦連棟・M合掌・Y合掌 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
 - ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

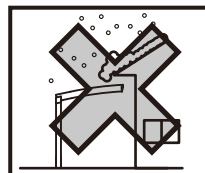
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・積雪（新雪）20cm（600N/m²）を超えない地域に設置してください。
- ・建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
- ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒のおそれがあります。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認をしてから施工を行ってください。



お願い

- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ・給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離のおそれがあります。
はくり
- ・施工場所に寸法的に正しく納まるかどうか確認してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和材（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- ・「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に堅樋を取付けると、表示が見えなくなり、正しく注意を促すことができなくなります。
堅樋を取付けない側に使用してください。
- ・アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・水濡れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

※φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m（25±5kgf・cm）

※M8ボルト：20.0N・m±0.5N・m（200±5kgf・cm）

※φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m（30±5kgf・cm）

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
※作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

<施工の後に>

⚠ 注意

- ・ボルト、ネジを増し締めしてください。ただし、緩み止め付きボルトは、硬化前に増し締めしてください。

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

■ 表示マーク	3	■ 縦連棟タイプの施工	16
■ 施工の流れ	3	■ 縦連棟 (L22・L29) の確認事項	16
■ 梱包明細表	4	■ 縦連棟 (L50) の確認事項	18
■ 各部の名称	6	■ 14延長の確認事項	19
■ 基本タイプの施工	7	1 連結部の加工	20
■ 基本の確認事項	7	2 部材の取付け	21
1 基礎寸法の確認	8	■ M合掌タイプの施工	22
2 柱の建て込み準備	8	■ M合掌の確認事項	22
3 柱、梁の組立て	9	1 合掌部の取付け	23
4 部材の加工	10	2 合掌棟木の取付け	24
5 母屋・後枠の取付け	11	3 M合掌端部キャップの取付け	24
6 前枠の取付け	11	■ Y合掌タイプの施工	25
7 側枠の取付け	12	■ Y合掌の確認事項	25
8 対角寸法の確認	13	1 合掌部の取付け	26
9 垂木の取付け	13	2 合掌棟木の取付け	27
10 屋根材の取付け	14	3 Y合掌端部キャップの取付け	27
11 側枠カバー・垂木カバーの取付け	14		
12 竖樋の取付け	15		

表示マーク



独立基礎で
施工の場合



土間コンクリートで
施工の場合



柱位置を移動して
施工の場合



M合掌を
施工の場合



Y合掌を
施工の場合

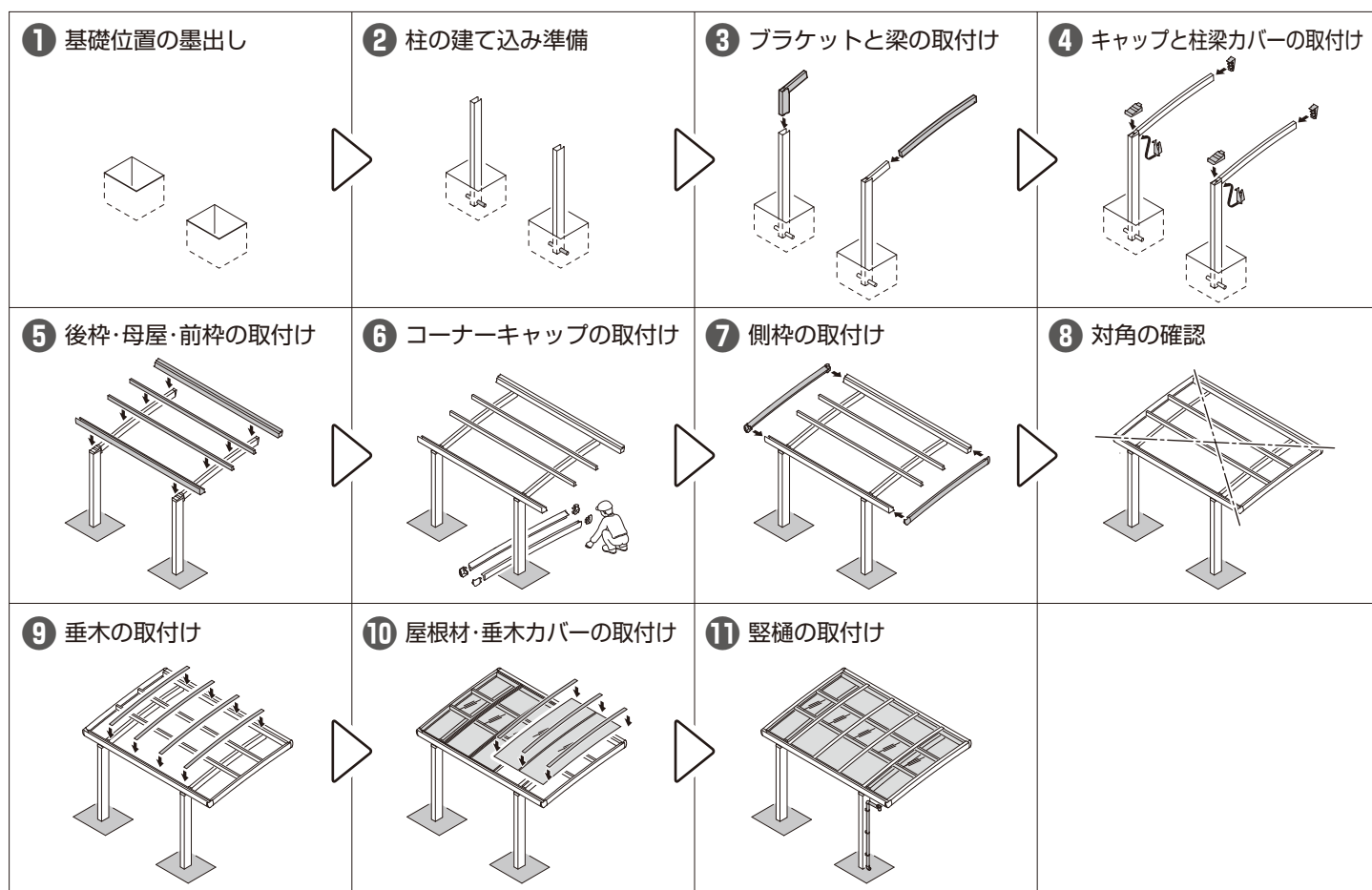


「14延長」または「縦連棟」
を施工の場合



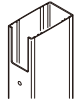
シーリング
箇所

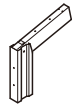
施工の流れ



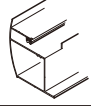
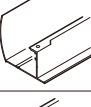
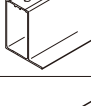
梱包明細表

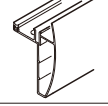
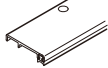
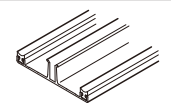
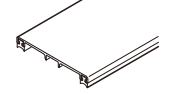
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

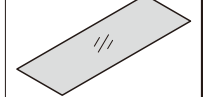
【1】 柱セット		員 数	
名 称	略 図	1本入	2本入
柱		1	2

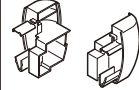
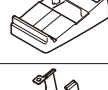
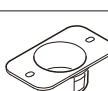
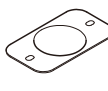
【2】 ブラケットセット		員 数	
名 称	略 図	1本入	2本入
ブラケット		1	2

【3】 梁セット		員 数	
名 称	略 図	1本入	2本入
梁		1	2

【4】 長さセット		員 数					
名 称	略 図	W21	W24・27		W30		
			L14	L50	L14	L50	
前枠		1	1	1	1	1	
後枠		1	1	1	1	1	
母屋		2	3	3	4	4	
縦樋φ40 L=3500		—	—	1	—	1	

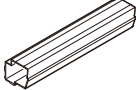
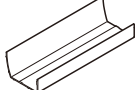
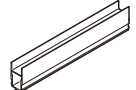
【5】 幅セット		員 数		
名 称	略 図	2本入	3本入	6本入
側枠		左右 各1	左右 各1	左右 各1
側枠カバー		2	2	2
垂木		2	3	6
垂木カバー		2	3	6

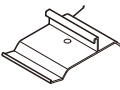
【6】 屋根材セット		員 数	
名 称	略 図	3枚入	4枚入
屋根材		3	4

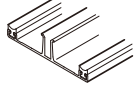
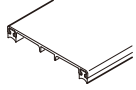
【7】 部品セット		員 数					
名 称	略 図	W21	W24・27		W30		
			L14	L50	L14	L50	
前枠コーナーキャップ [部品番号] R: YBA-460R L: YBA-460L		左右 各1	—	左右 各1	—	左右 各1	
後枠コーナーキャップ [部品番号] R: YBA-464R L: YBA-464L		左右 各1	—	左右 各1	—	左右 各1	
梁キャップ		2	1	2	1	2	
柱キャップ		2	1	2	1	2	
柱梁カバー		2	1	2	1	2	
アンカー棒 φ8×200		2	1	2	1	2	
穴隠しシール φ10		16	10	20	12	24	
雨樋アタッチメント		1	1	1	1	1	
雨樋穴塞ぎキャップ		1	1	1	1	1	
雨樋パッキン		2	2	2	2	2	
ドレンエルボφ40用		1	1	1	1	1	
92° エルボφ40用		2	2	2	2	2	
でんでん		3	3	3	3	3	
接着剤		1	1	1	1	1	
パネル緩衝材		8	8	24	8	32	
【7-1】 M8×20六角ボルト (平座金・緩み止め付き)		14	7	14	7	14	
【7-2】 φ5×12トラスタッピン ネジ3種		122	48	150	61	194	
【7-3】 φ4×13ナベドリルネジ		3	3	3	3	3	
取付説明書〈D653〉	—	1	—	1	—	1	
取扱説明書〈UD125〉	—	1	—	1	—	1	

【8】 竖樋セット (オプション)		員 数
名 称	略 図	L=3100
竖樋 φ40		1

【12】 MY合掌棟木セット		員 数
名 称	略 図	
MY合掌棟木		1

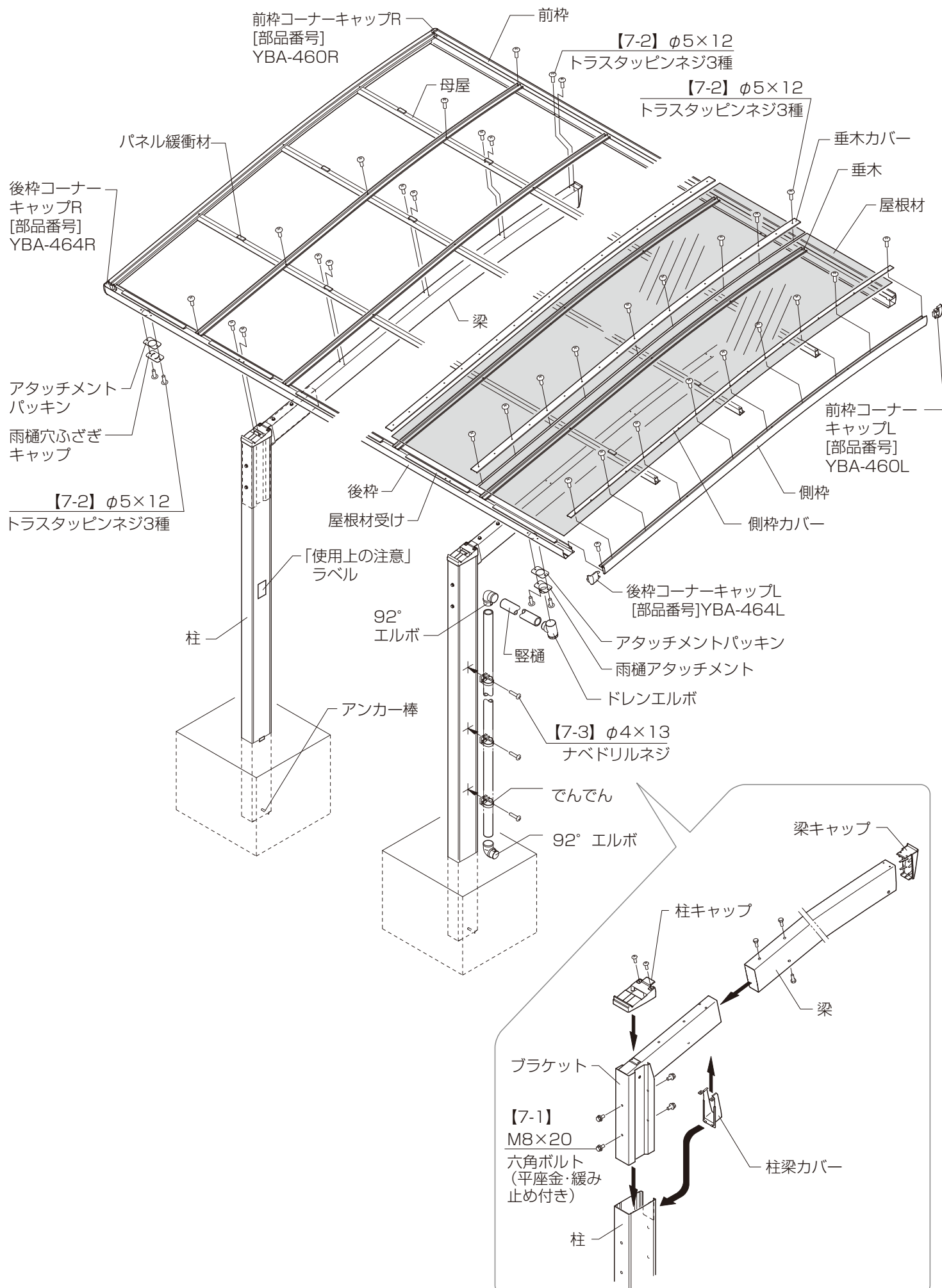
【9】 連棟部材セット (オプション)		員 数		
名 称	略 図	W21	W24・27	W30
前枠スリーブ		1	1	1
後枠スリーブ		1	1	1
母屋スリーブ		2	3	4
【9-1】 φ4×13ナベドリルネジ		35	44	52

【13】 Y合掌部品セット		員 数
名 称	略 図	
Y合掌端部キャップR用		2
Y合掌固定金具R用		4
Y合掌用柱連結金具		2
【13-1】 φ4×13ナベドリルネジ		4
【13-2】 φ4×20トラスタッピンネジ3種		4

【10】 連棟幅セット (オプション)		員 数			
名 称	略 図	2本入	3本入	4本入	7本入
垂木		2	3	4	7
垂木カバー		2	3	4	7

【11】 M合掌部品セット		員 数
名 称	略 図	
M合掌梁連結金具R用		4
M合掌端部キャップR用		2
M合掌固定金具R用		4
梁スペーサー		8
【11-1】 M8×80六角ボルト		8
【11-2】 M8用六角セルフロックナット		8
【11-3】 M8用平座金		16
【11-4】 φ4×13ナベドリルネジ		4
【11-5】 φ4×20トラスタッピンネジ2種		4

各部の名称



基本タイプの施工

基本の確認事項

姿図

注意



【柱移動】をした場合は
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

お願い

- ・構造計算書を添付して建築確認申請をおこなっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。
- ・柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



P.16



P.22



P.25

【縦連棟】【M合掌】の基礎寸法は、P.8および対応したページも併せて参照してください。

【Y合掌】の基礎寸法は対応したページを参照してください。

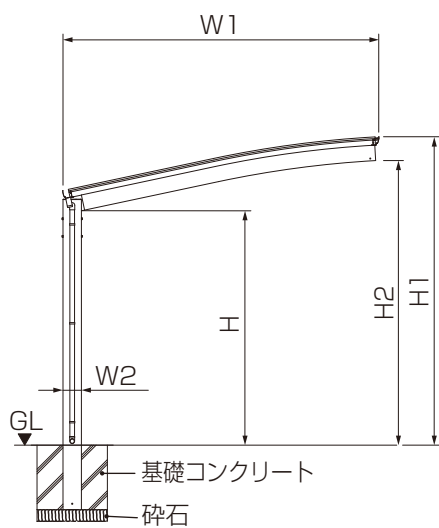
補足

印は【柱移動】範囲を示します。

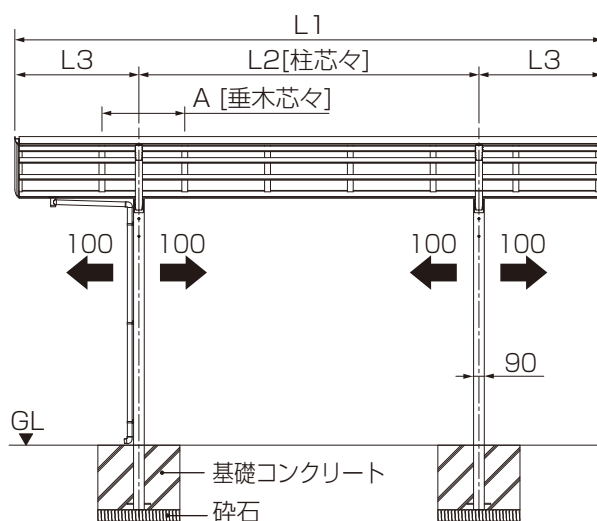
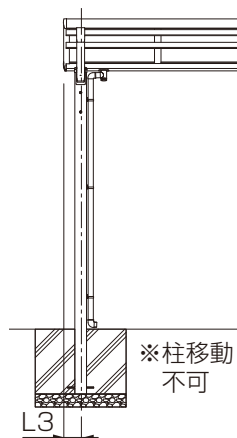
【ロング柱の場合】

W21=H寸法に+608してください。

W24~W30=H寸法に+300してください。



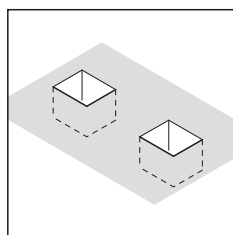
【L22・L29の場合】



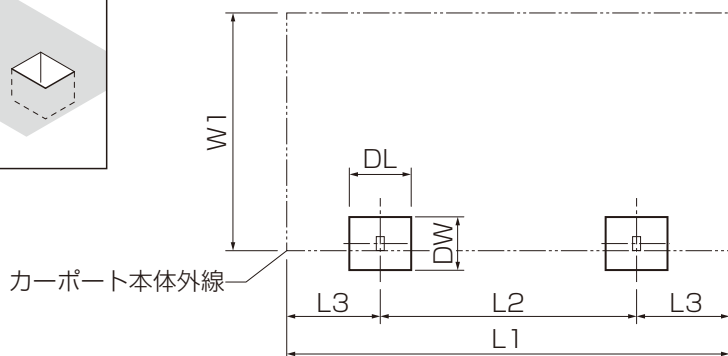
サイズ(間口)		W1	W2	H	H1	H2
ミニ	W21	2101	132	1903	2390	2213
レギュラー	W24	2400	158	2196	2768	2564
	W27	2701	158	2196	2832	2628
	W30	2999	160	2196	2976	2770

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	A
ミニ	L22	2156	1894	131	706
	L29	2862	2600	131	706
レギュラー	L50	4980	2900	1040	706

基礎の墨出し



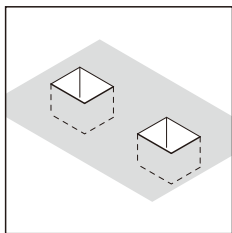
①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



補足

基礎寸法 (DH/DW/DL) は、P.8を参照してください。

1 基礎寸法の確認



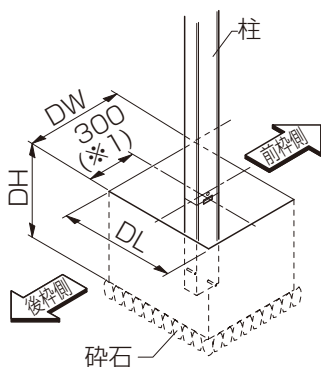
【縦連棟】
【M合掌】 も本ページの基礎寸法を参照してください。

①基礎穴寸法を確認してください。

サイズ(間口)	独立基礎寸法			土間コンクリート寸法		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W21	600	400	500	400	300	500
W24	700	600	550	350	300	550
W27	700	600	550	350	300	550
W30	800	700	550	370	370	550



【独立基礎仕上げ】の場合

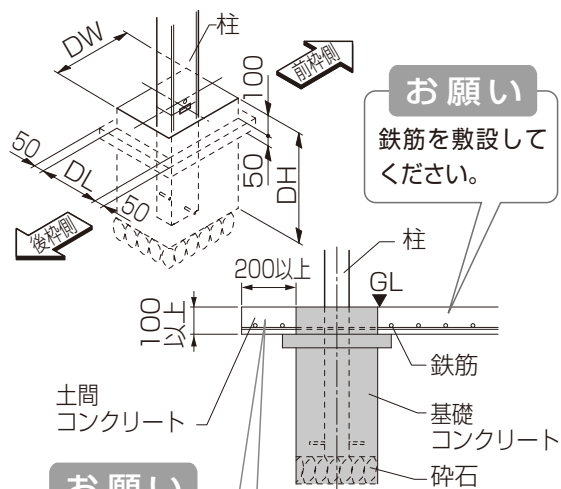


補 足

(※1) は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。



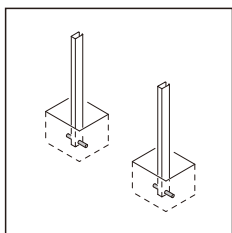
【土間コンクリート仕上げ】の場合



お願い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。

2 柱の建て込み準備



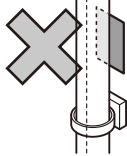
①アンカー棒を柱に差込んでください。

②柱のG.L.付近(地上側)にφ6水抜き穴をあけてください。

お願い

【柱を建てこむ際は】

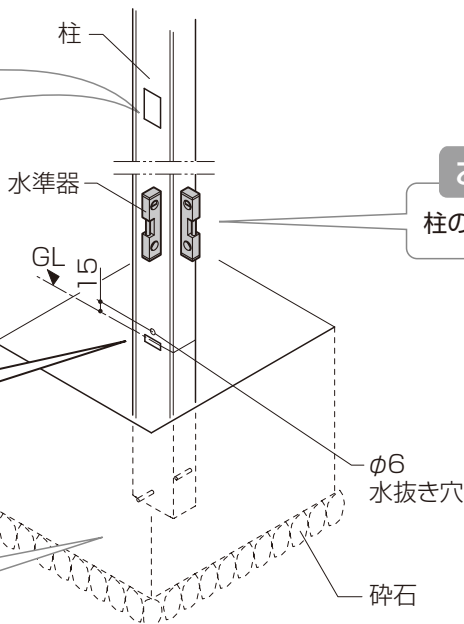
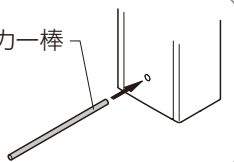
「使用上の注意」
ラベルが、竖樋
でかくなれないよ
うに柱を建込ん
でください。



⚠ 注意

水抜き穴をあけないと、柱が
破損するおそれがあります。

アンカー棒

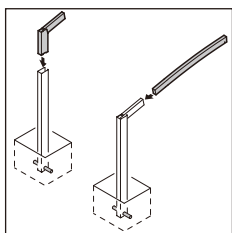


お願い

柱の垂直を確認してください。

3 柱、梁の組立て

1 ブラケットと梁の取付け



- ① ブラケットを柱に差込み【7-1】で取付けてください。
- ② 梁をブラケットに差込み【7-1】で取付けてください。

ブラケット

【7-1】 M8×20
六角ボルト
(平座金・緩み止め付き)

柱

【7-1】 M8×20
六角ボルト
(平座金・
緩み止め付き)

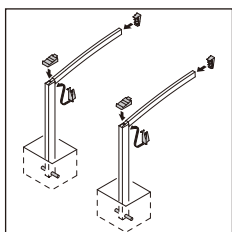
ブラケット

梁

お願い

緩み止め硬化後にボルトを「緩めたり、
締めたり」しないでください。緩みやす
くなる場合があります。
(締付け後、約24時間で硬化します。)

2 柱キャップ・柱梁カバーの取付け



【M合掌】の場合は、P.26も
事前に確認してください。

補足

この段階では、柱キャップ・柱梁カバーは多少ガタつきます。

- ① 柱キャップを柱にはめ込んでください。
- ② 柱梁カバーを柱の切欠き部にはめ込んでください。
- ③ 柱梁カバーを柱キャップに【7-2】で取付けてください。
- ④ 梁キャップにシーリング剤を充填し、梁に梁キャップをはめ込んでください。

柱キャップ

柱

【7-2】 $\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種

広げる

柱梁カバー

寄せ合う

Aから見る

梁キャップ

A

梁キャップ

引っ掛ける

広げる

回転

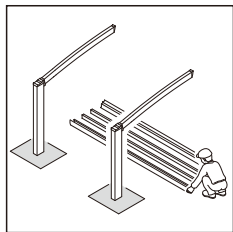
【7-2】 $\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種

寄せ合う

柱梁カバー

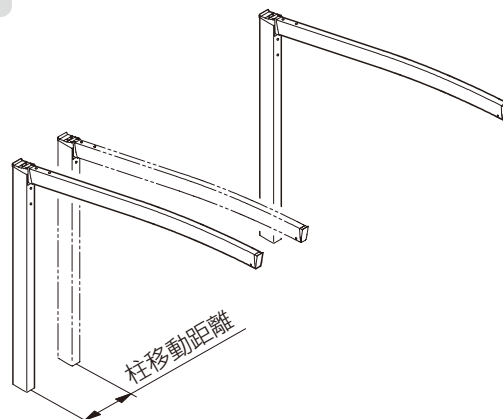
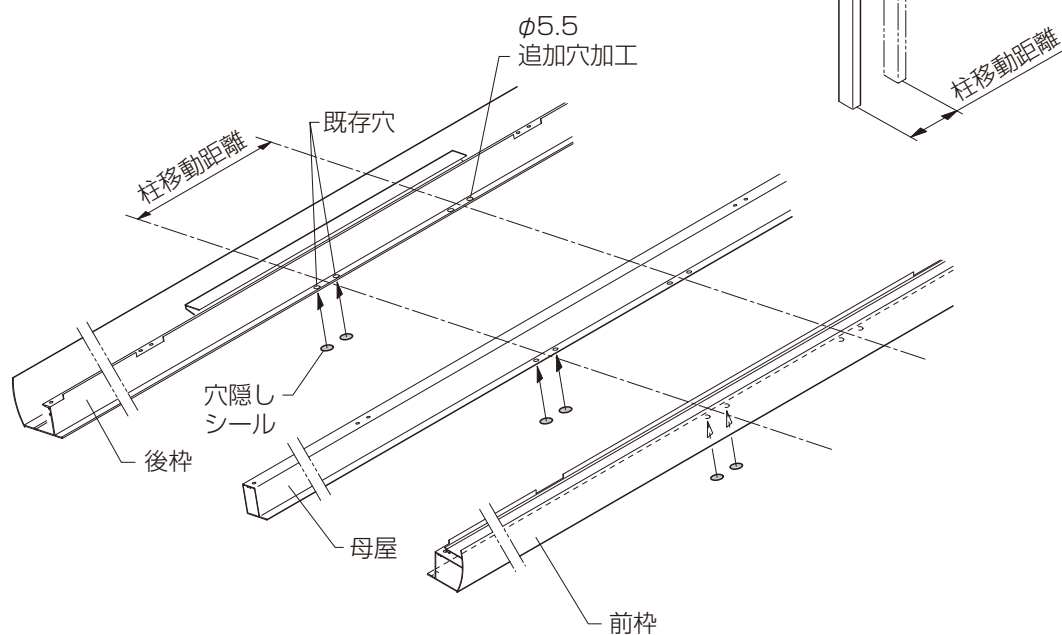
4 部材の加工

□ 柱移動の場合（移動した柱、梁へ取付ける部材の加工）

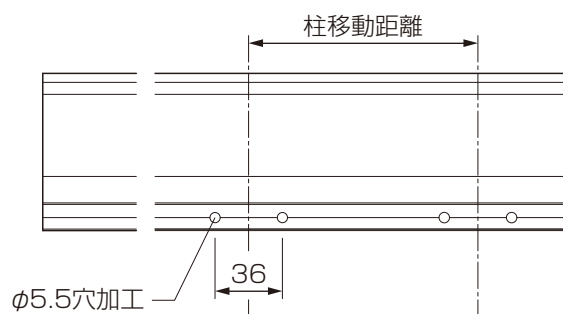
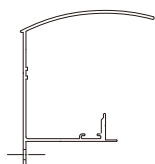


【柱移動】の場合の作業です。

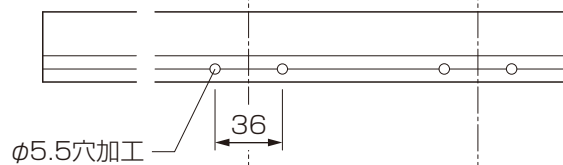
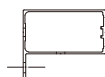
- ①部材に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴隠しシールを貼り付けてください。



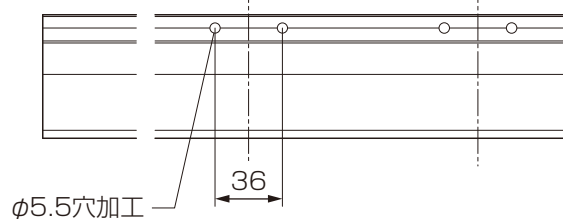
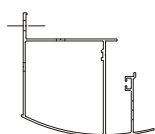
【後枠】



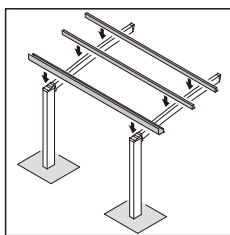
【母屋】



【前枠】



5 母屋・後枠の取付け

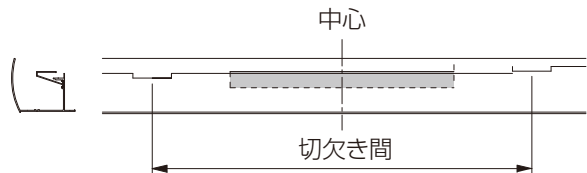


【縦連棟・14延長】の場合は、
P.21も事前に確認してください。

- ①後枠をブラケットに【7-2】で取付けてください。
- ②パネル緩衝材を母屋に貼り付けてください。
- ③母屋を梁に【7-2】で取付けてください。

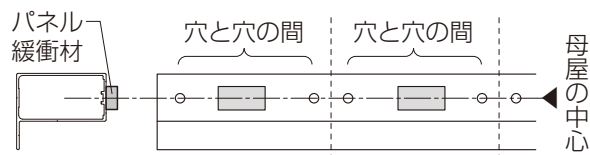
お願い

屋根材受けを下図の位置に移動させてください。



お願い

パネル緩衝材は下図の位置に貼り付けてください。



【7-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

屋根材受け

後枠

パネル緩衝材

【7-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

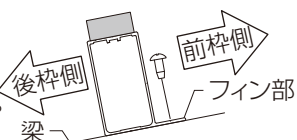
ブラケット

母屋

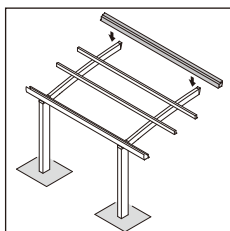
パネル緩衝材

お願い

母屋のフィン
は前枠側
に向けてください。



6 前枠の取付け



【縦連棟・14延長】の場合は、
P.21も事前に確認してください。

- ①前枠を梁に【7-2】で取付けてください。

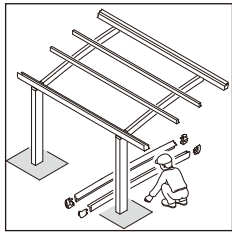
【7-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

前枠

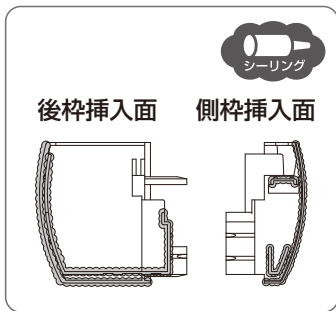
梁

7 側枠の取付け

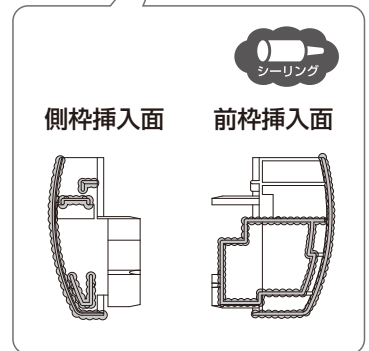
1 コーナーキャップの取付け



- ①コーナーキャップにシーリング材を充てんしてください。
- ②コーナーキャップを側枠にはめ込んでください。



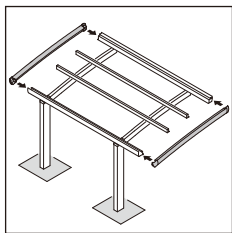
後枠コーナー
キャップR
[部品番号]
YBA-464R



前枠コーナー
キャップR
[部品番号]
YBA-460R

側枠

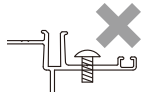
2 側枠の取付け



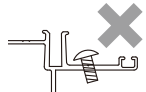
- ①側枠を後枠・母屋・前枠に【7-2】で取付けてください。

お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



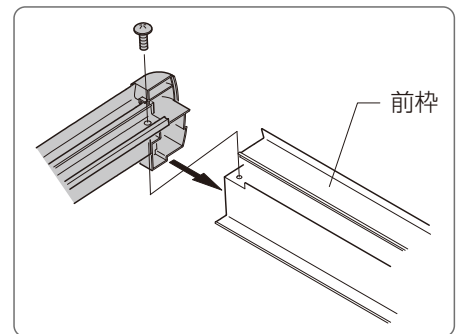
ネジの浮き



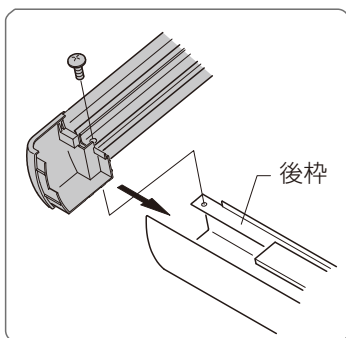
ネジの傾き



ネジの浮き・傾きなし



前枠



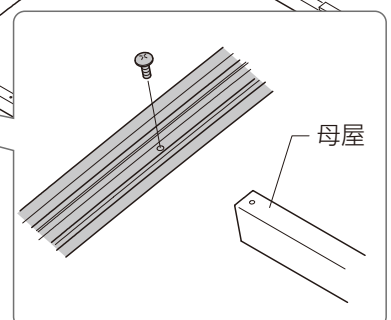
後枠

【7-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種

側枠

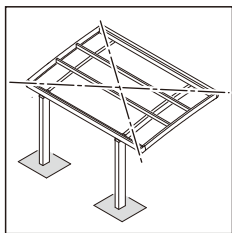
母屋

後枠

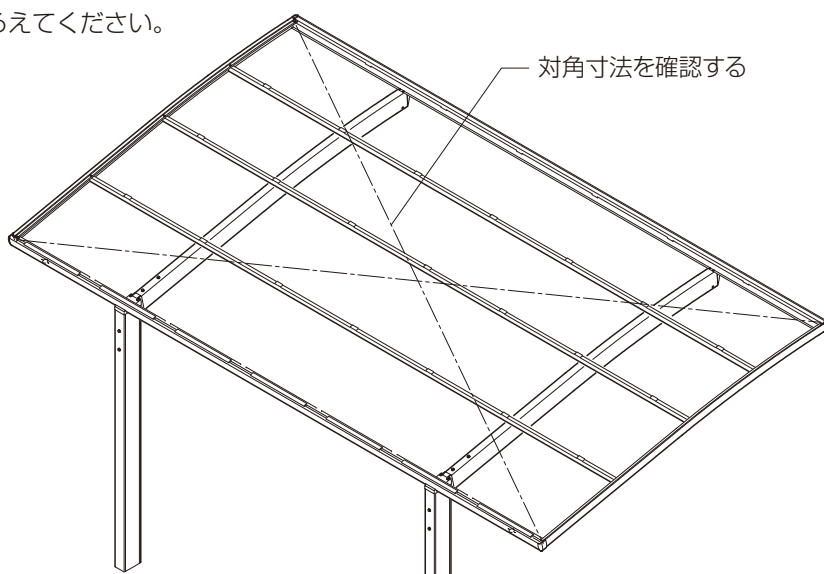


母屋

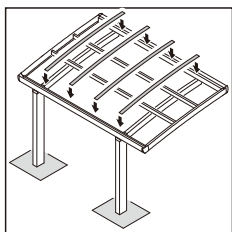
8 対角寸法の確認



①屋根枠まわりの対角寸法をそろえてください。



9 垂木の取付け



①垂木を後杵・母屋・前杵に【7-2】で取付けてください。

お願い

ネジの浮き・傾きがないように取付けてください。



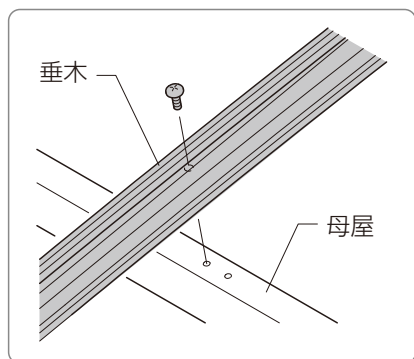
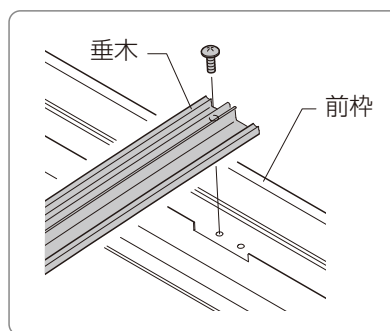
ネジの浮き



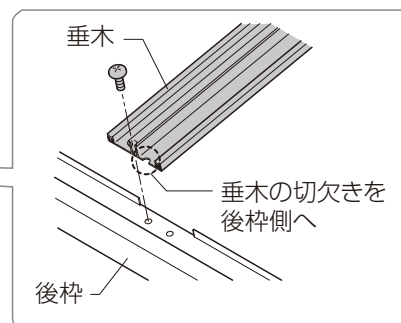
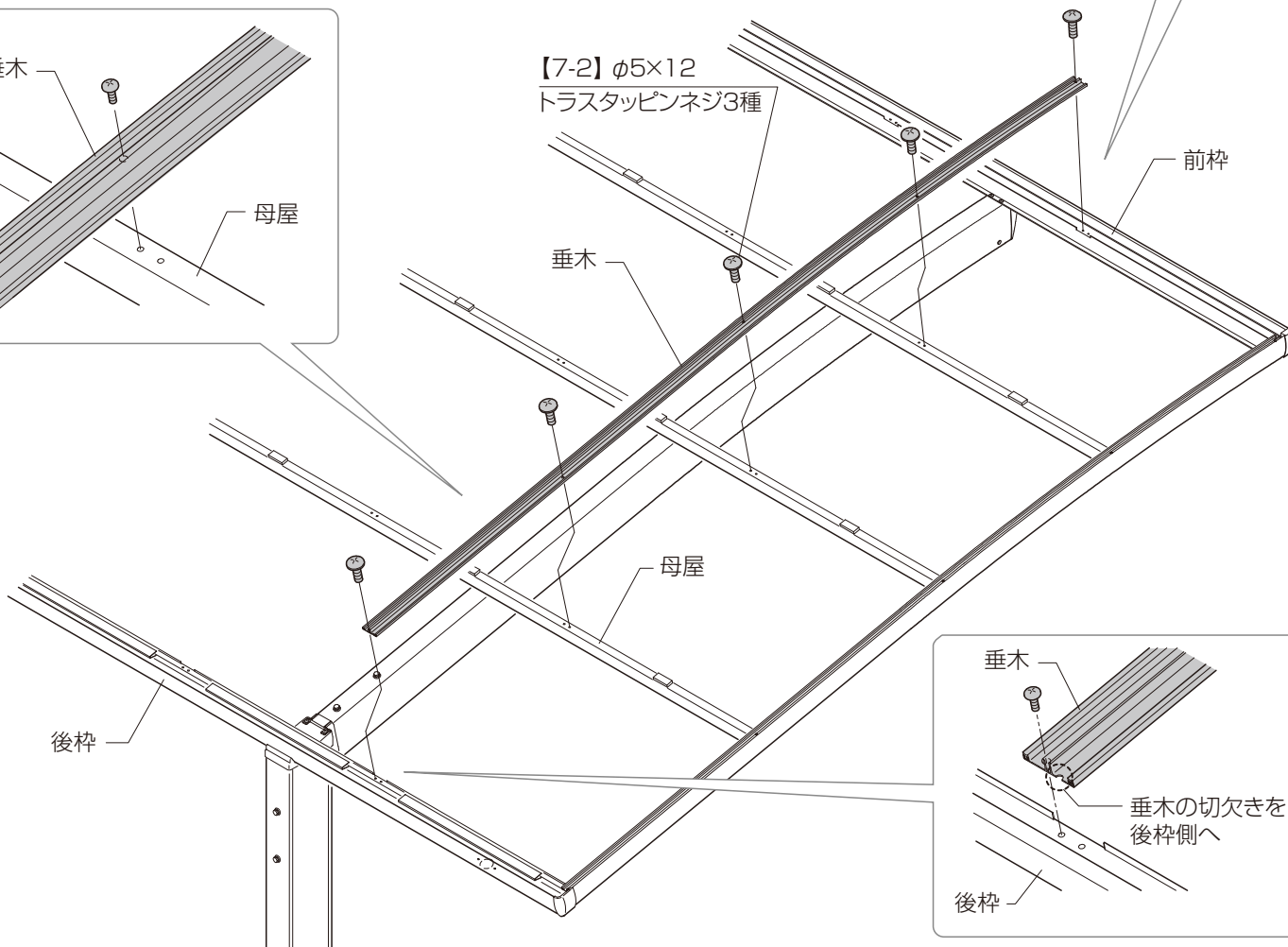
ネジの傾き



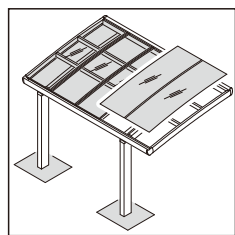
ネジの浮き・傾きなし



【7-2】φ5×12
トラスタッピンネジ3種



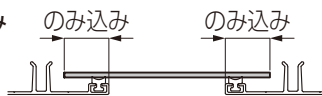
10 屋根材の取付け



- ① 屋根材を前枠のカバー部に差し込み、後枠の屋根材受けに差込んでください。

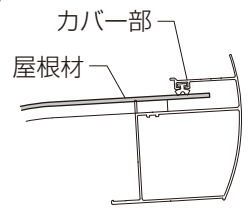
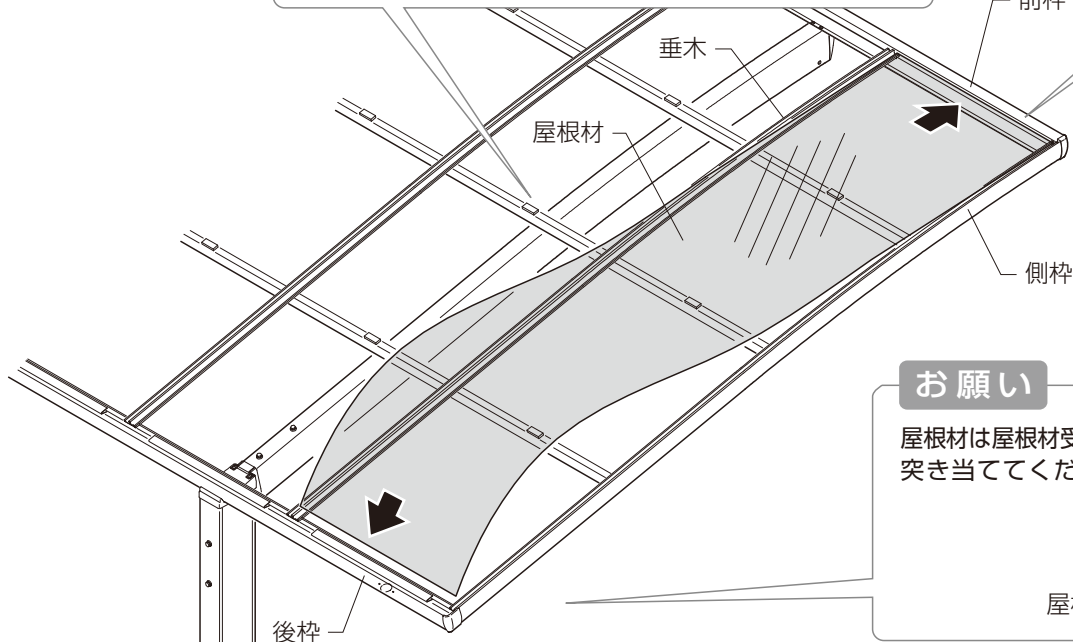
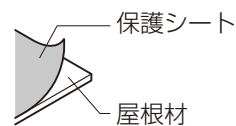
お願い

垂木部の屋根材のみ込み寸法は左右均等にしてください。



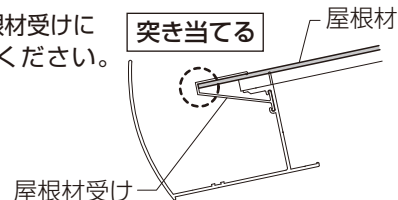
お願い

屋根材は必ず裏表を確認し、保護シートをはがしてから取付けてください。

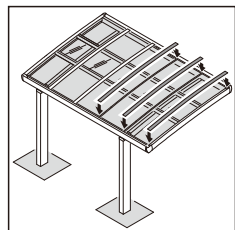


お願い

屋根材は屋根材受けに突き当ててください。



11 側枠カバー・垂木カバーの取付け



- ① 垂木カバー・側枠カバーを、垂木・側枠に【7-2】で取付けてください。
② 垂木カバー・側枠カバーにシーリング材を充てんしてください。

お願い

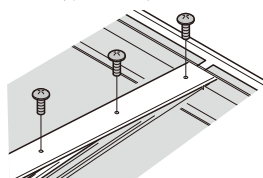
【取付けた後は】
垂木と垂木カバーが
かみ合っていることを
確認してください。

かみ合わせる

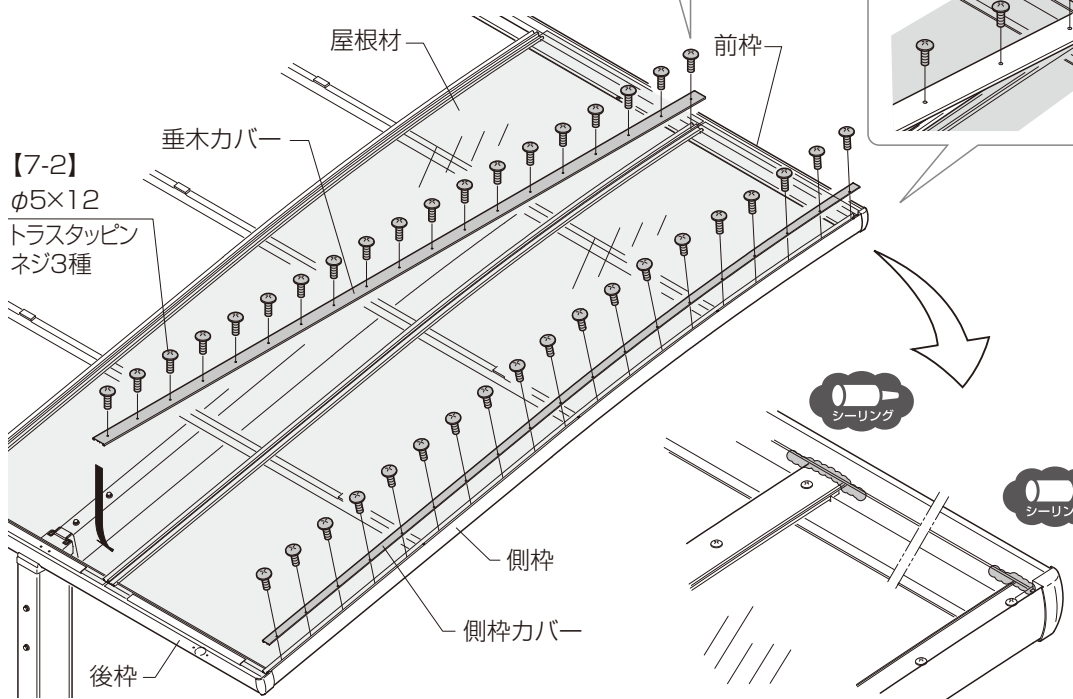
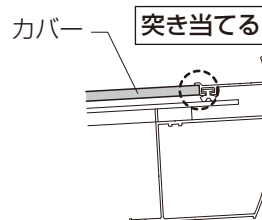


お願い

【取付ける際は】
・前枠側から取付け
てください。



・前枠に突き当てて
取り付けてください。



お願い

ネジの浮き・傾きがない
ように取付けてください。



ネジの浮き

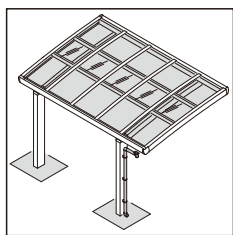


ネジの傾き

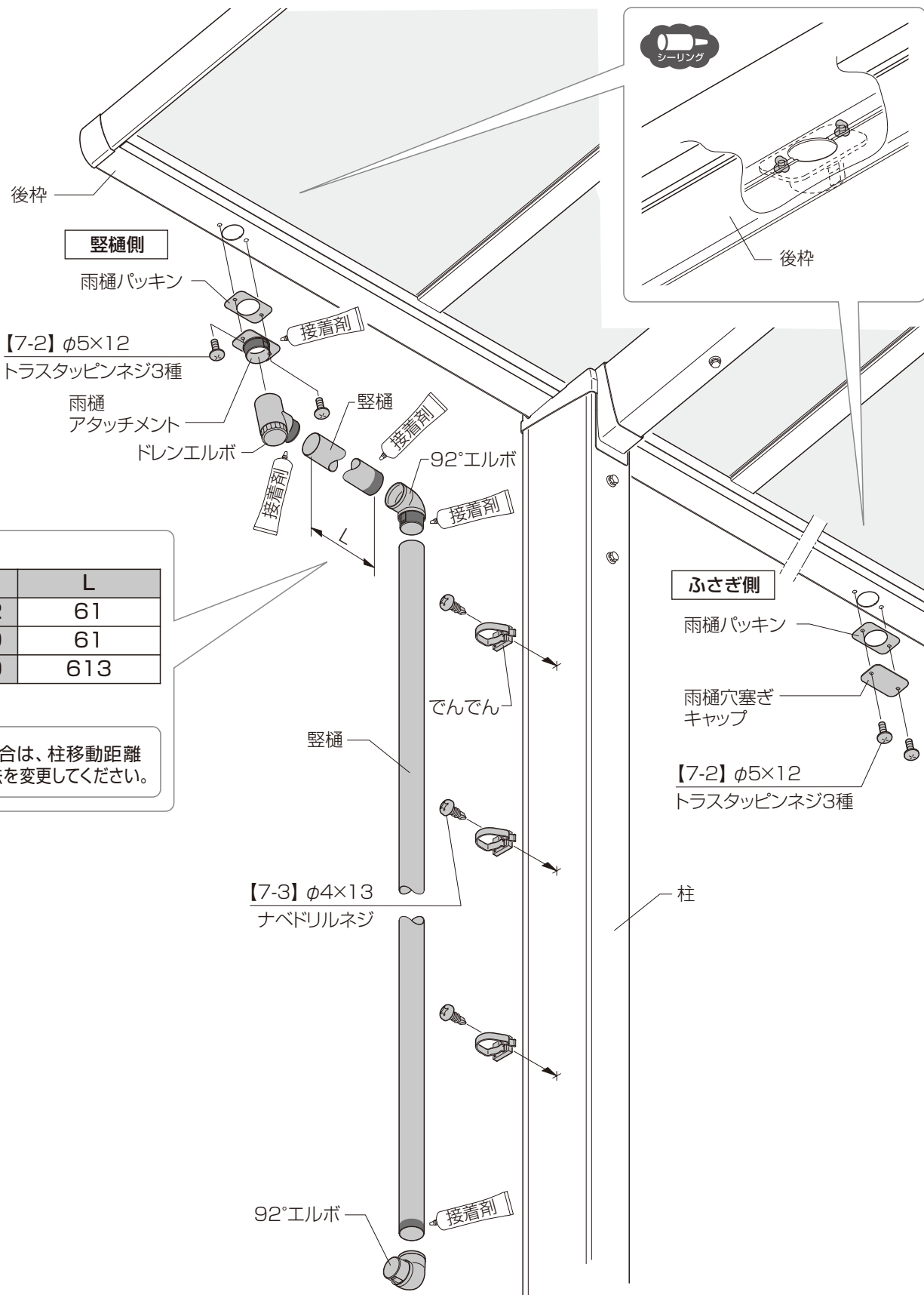


ネジの浮き・傾きなし

12 縦樋の取付け



- ① 縦樋を切断してください。
- ② 後枠片方の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋アタッチメント」を【7-2】で取付けてください。
- ③ 柱に「でんでん」を【7-3】で取付けてください。
- ④ 「ドレンエルボ」、「縦樋」、「92°エルボ」を接着剤で取付けてください。
- ⑤ 逆側の水抜き穴に「雨樋パッキン」、「雨樋穴塞ぎキャップ」を【7-2】で取付けてください。
- ⑥ 後枠内のネジ部にシーリング材を充てんしてください。



縦樋切断寸法

サイズ (奥行)		L
ミニ	L22	61
	L29	61
レギュラー	L50	613

お願い

柱を移動した場合は、柱移動距離にあわせて、L寸法を変更してください。

縦連棟タイプの施工



【縦連棟】または【14延長】の場合の作業です。

縦連棟 (L22・L29) の確認事項

□ 姿図



【縦連棟】の場合の作業です。

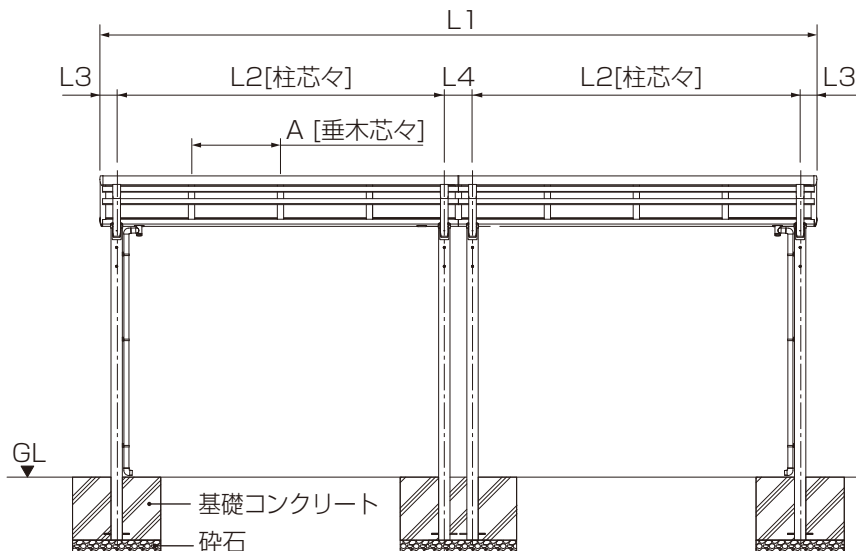
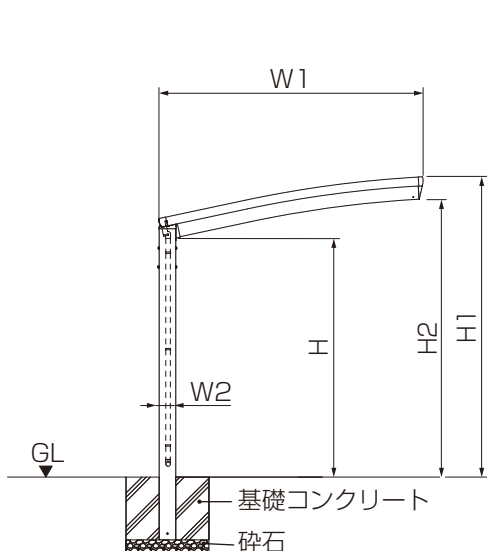
お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。

補 足

【ロング柱の場合】

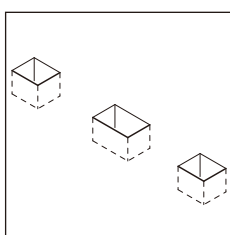
H寸法に+608してください。



サイズ(間口)		W1	W2	H1	H2	H
ミニ	W21	2101	132	2390	2213	1903

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	L4	A
ミニ	L22+22	4274	1894	131	224	706
	L29+29	5686	2600	131	224	706

基礎の墨出し



① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

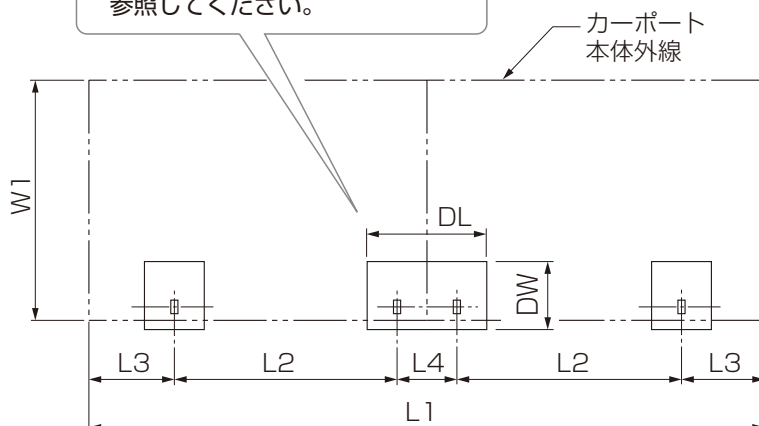
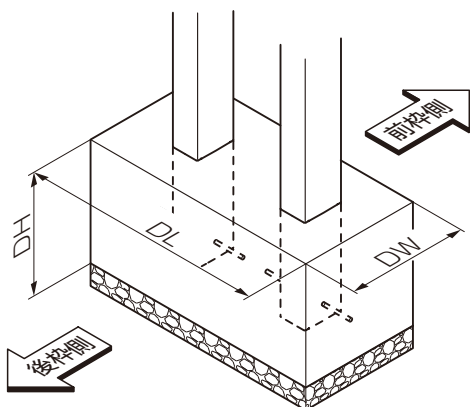


【連結部以外の基礎寸法数値について】

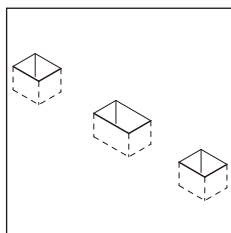
連結部以外の基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。

お願い

連結部の基礎寸法は次ページを参照してください。



□ 基礎寸法の確認



①基礎穴寸法を確認してください。

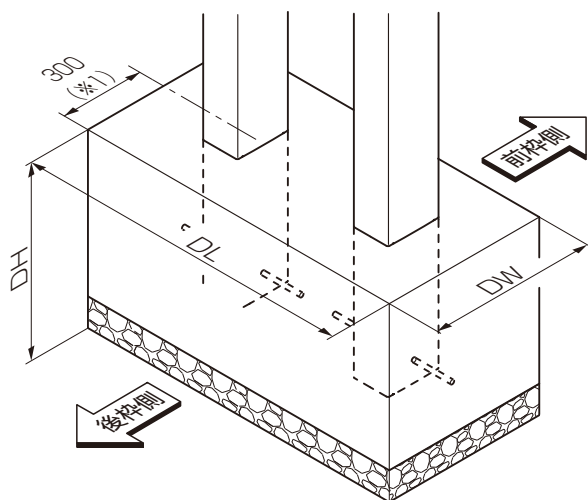
サイズ(間口)	独立基礎寸法			土間コンクリート寸法		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W21	600	800	500	400	600	500

※DW・DL中心位置が柱芯となります。



独立基礎

【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。



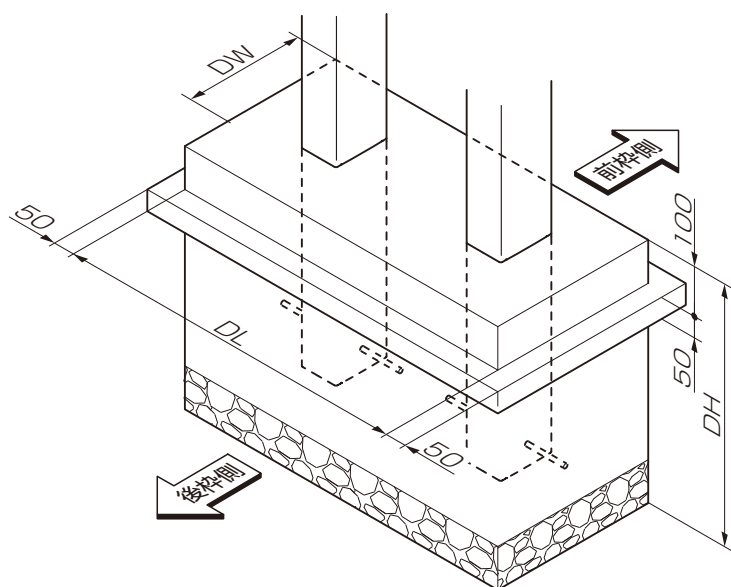
補 足

(※1) は柱芯から柱背面側の基礎端面までの寸法です。



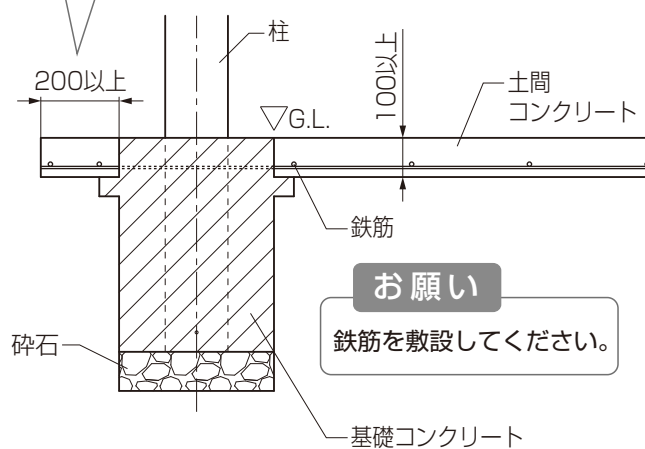
土間コン

【土間コンクリート仕上げ基礎】の場合の作業です。



お 願 い

基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。



お 願 い

鉄筋を敷設してください。

■縦連棟 (L50) の確認事項

□ 姿図



【縦連棟】の場合の作業です。

⚠ 注意



【柱移動】をした場合は
柱芯々寸法±100mm以内で
柱移動をしてください。

補 足

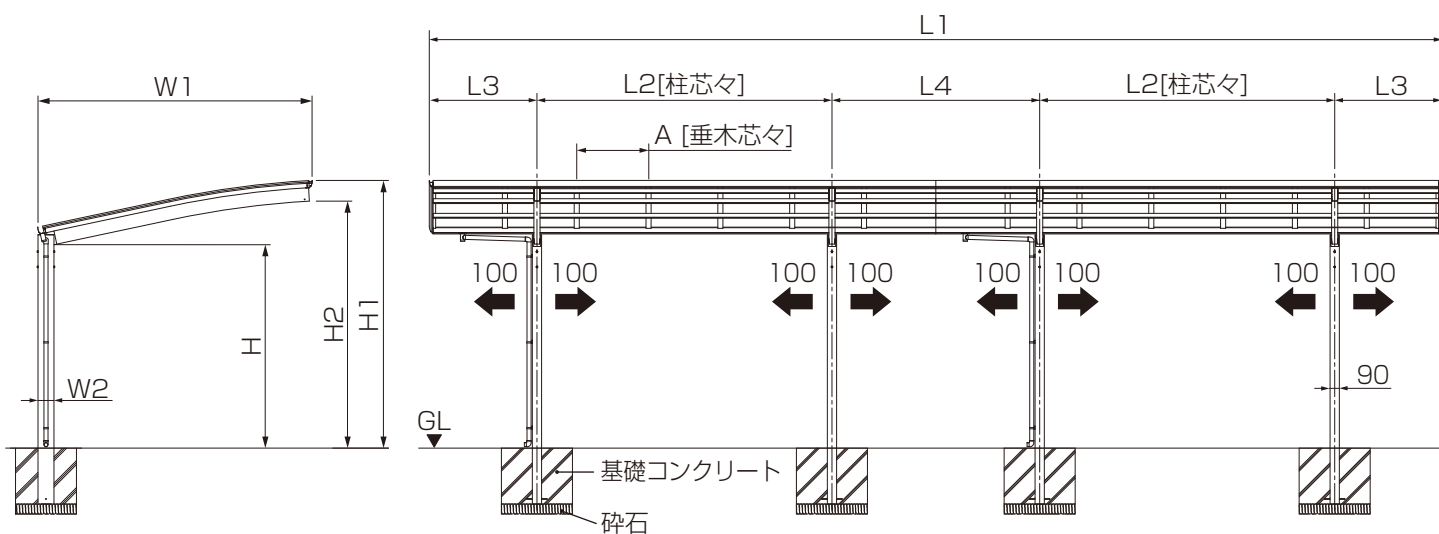
← 印は【柱移動】範囲を示します。

【ロング柱の場合】

W24~W30=H寸法に+300してください。

お 願 い

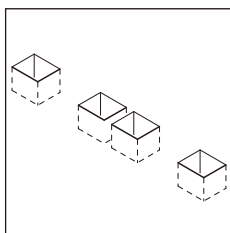
柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。



サイズ(間口)		W1	W2	H1	H2	H
レギュラー	W24	2400	158	2768	2564	2196
	W27	2701	158	2832	2628	2196
	W30	2999	160	2976	2770	2196

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	L4	A
レギュラー	L50+50	9922	2900	1040	2042	706

□ 基礎の墨出し

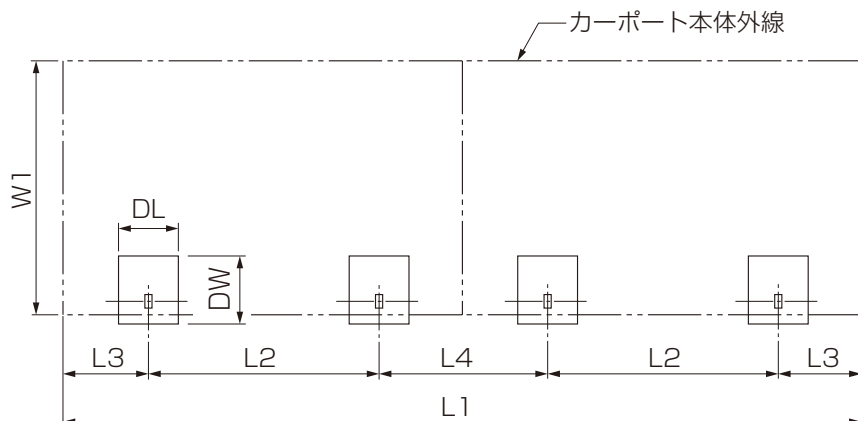
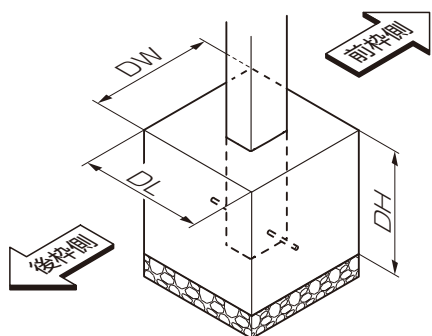


① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。



■ 14延長の確認事項

□ 姿図



【14延長】の場合の作業です。

⚠ 注意



【柱移動】をした場合は
柱芯々寸法±100mm以内で
柱移動をしてください。

補 足

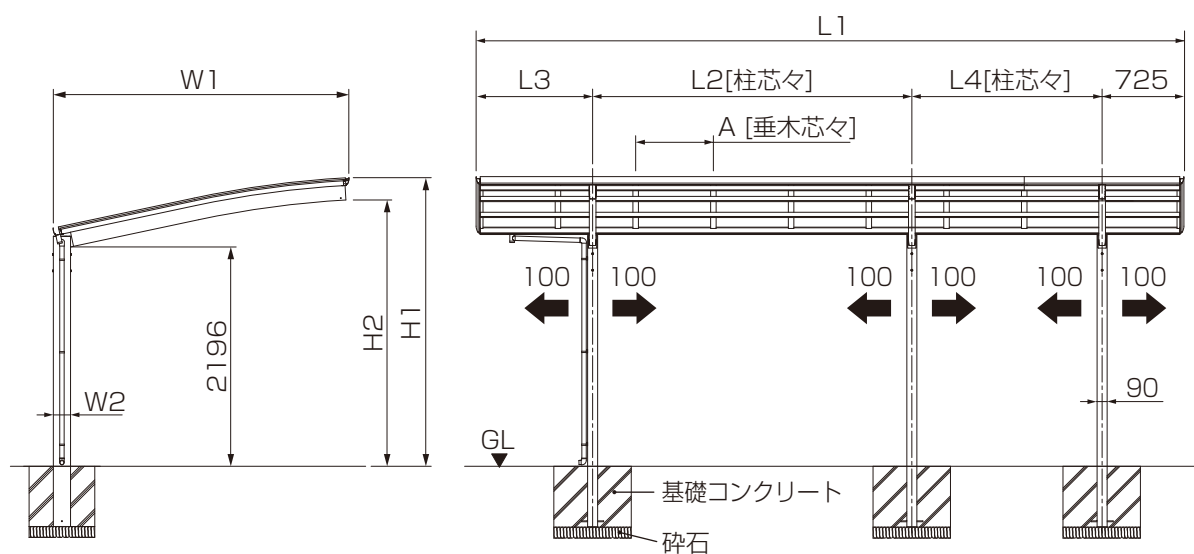
← 印は【柱移動】範囲を示します。

【ロング柱の場合】

W24~W30=H寸法に+300してください。

お 願 い

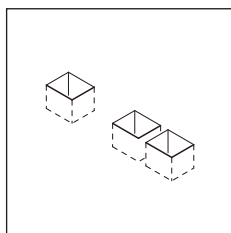
- ・柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。
- ・14延長側および中間の柱の柱内側移動はできません。



サイズ(間口)		W1	W2	H1	H2
レギュラー	W24	2400	158	2768	2564
	W27	2701	158	2832	2628
	W30	2999	160	2976	2770

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	L4	A
レギュラー	L50+14	6392	2900	1040	1727	706

□ 基礎の墨出し

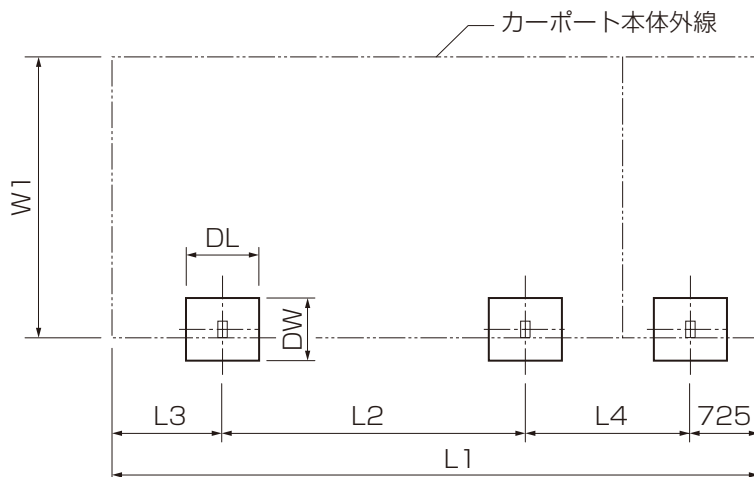
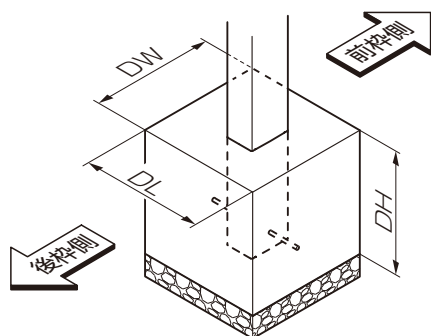


① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。



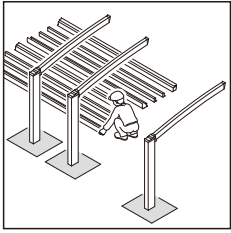
【基礎寸法数値について】

基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。



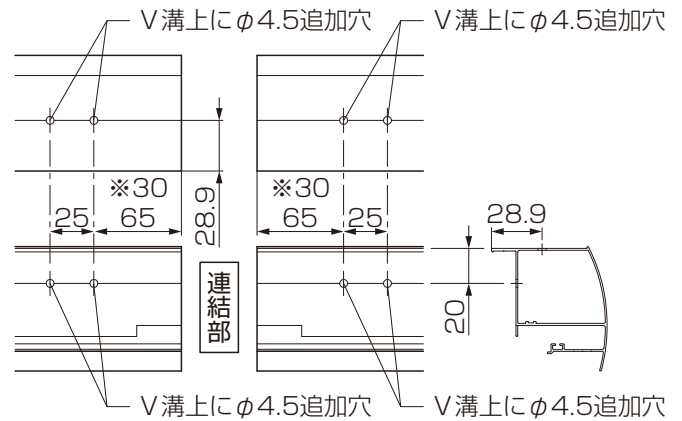
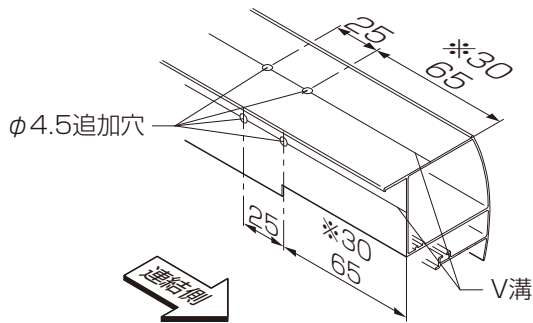
1 連結部の加工

□ 連結スリーブ取付用の穴加工

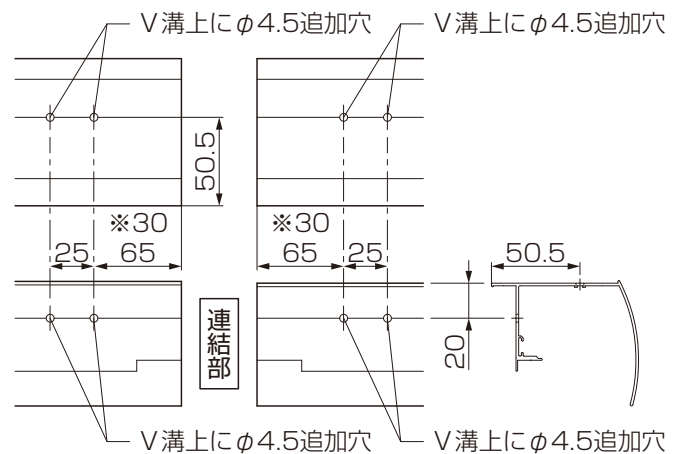
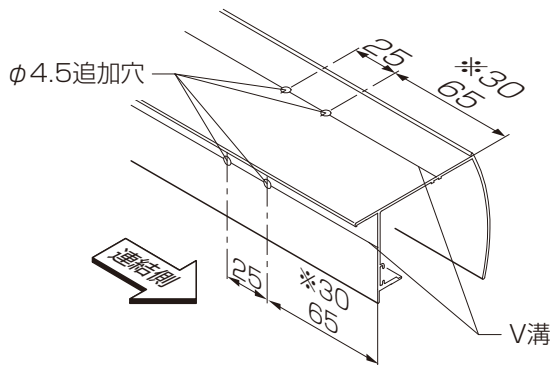


①前枠・母屋・後枠・母屋スリーブの連結側を穴加工ください。
※印寸法は縦連棟 (L22・L29) の場合のみです。

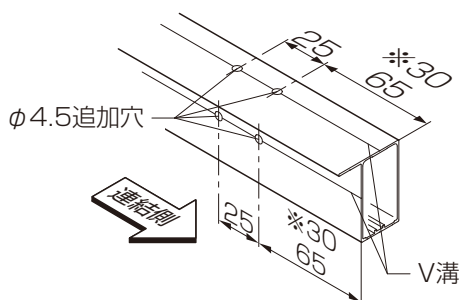
【前枠】（下面から見る）



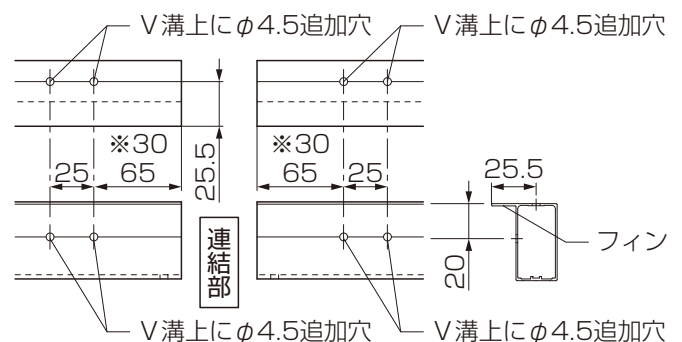
【後枠】（下面から見る）



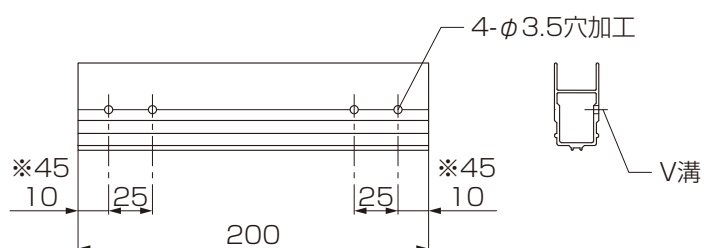
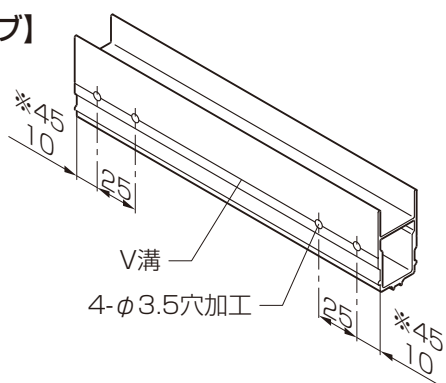
【母屋】（下面から見る）



補 足
母屋への穴加工はフィン側に行なってください。

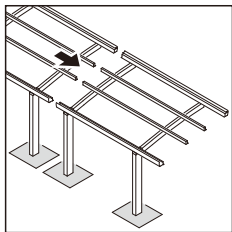


【母屋スリーブ】

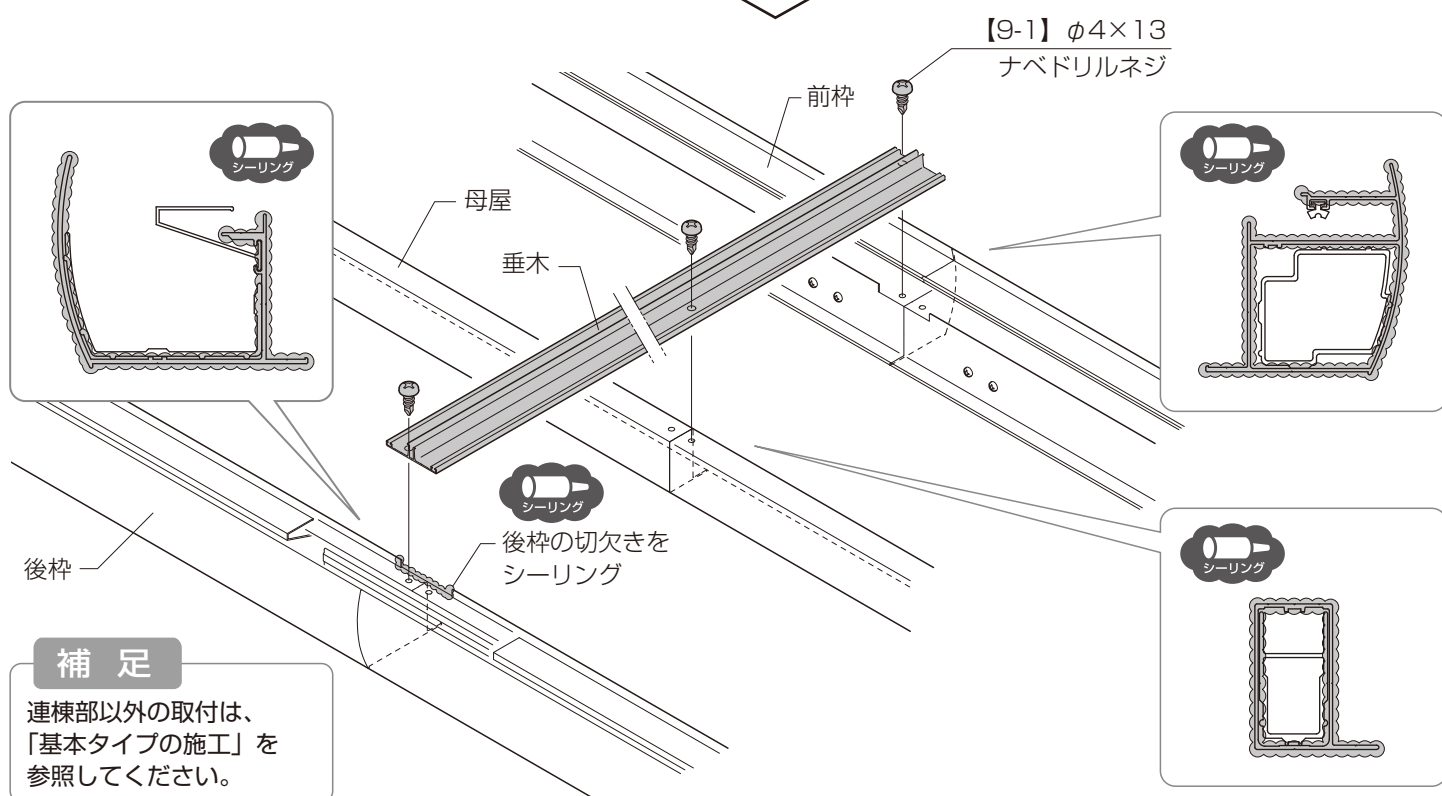
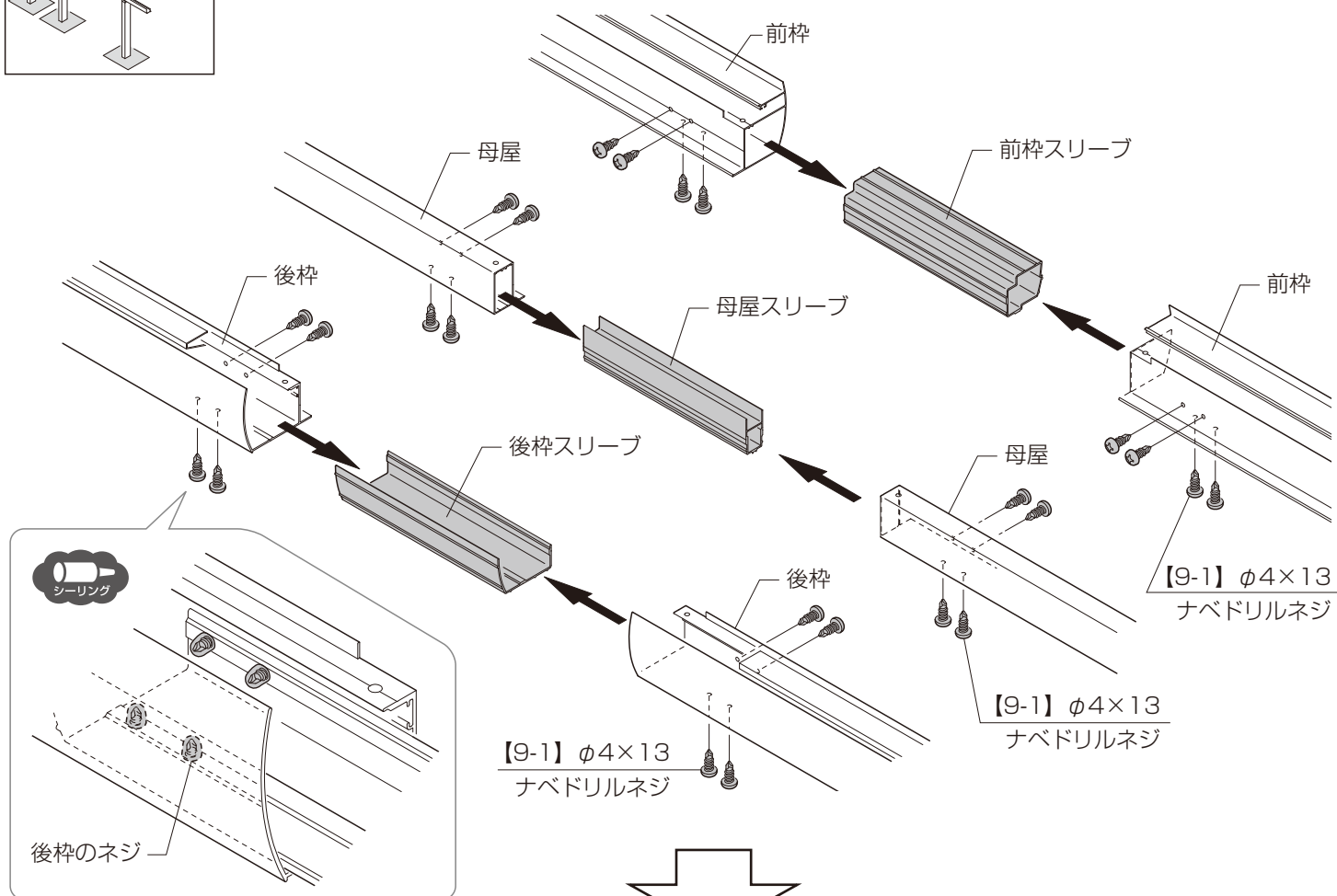


2 部材の取付け

連棟部の連結



- ①後枠スリーブを取付けるネジ【9-1】にシーリング材を充てんしてください。
- ②前枠、母屋、後枠に、それぞれのスリーブを【9-1】で取付けて連結してください。
- ③後枠の切欠き部と各部材の連結部分にシーリング材を充てんしてください。
- ④連結部分に垂木を【9-1】で取付けてください。



補 足

連棟部以外の取付は、「基本タイプの施工」を参照してください。

M合掌タイプの施工



【M合掌】の場合の作業です。

M合掌の確認事項

姿図

注意



【柱移動】をした場合は柱芯々寸法
±100mm以内で柱移動をしてください。

補足

印は【柱移動】範囲を示します。

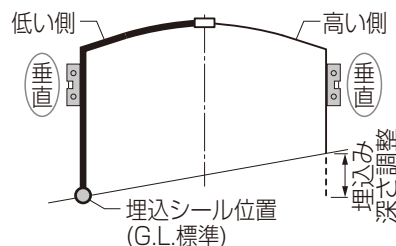
【ロング柱の場合】

W24~W30=H寸法に+300してください。

お願い

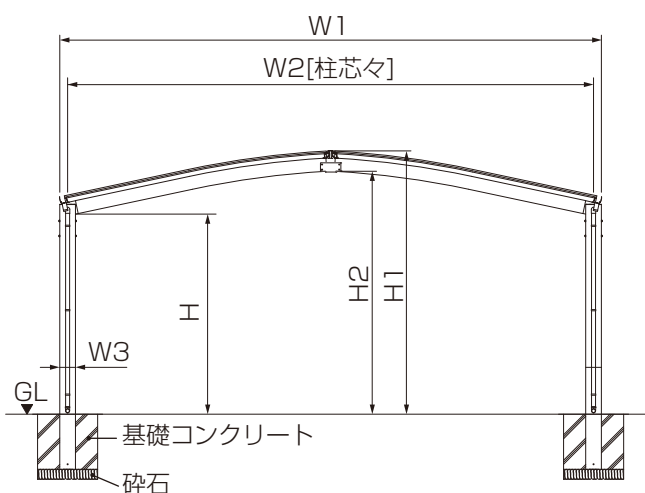
【傾斜地で施工する場合】

低い側の本体高さを基準とし、高い側の本体の埋め込み深さを調整して、本体高さを合わせ、柱が垂直になるよう施工してください。合掌棟木に水がたまり、漏水するおそれがあります。

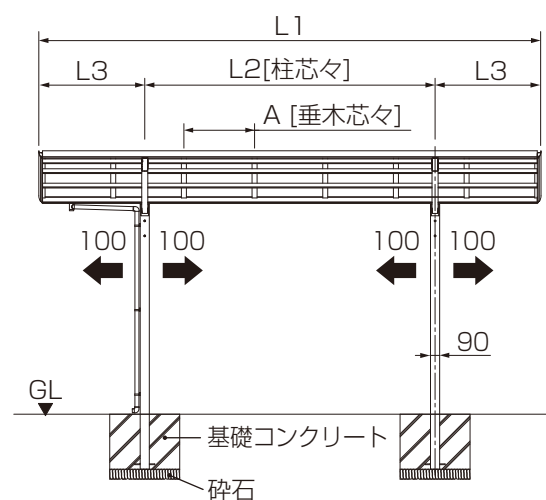


お願い

柱内の水が抜けるように必ず砕石を敷いてください。

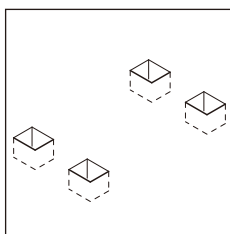


サイズ(間口)		W1	W2	W3	H	H1	H2
レギュラー	W24-24	4816	4653	158	2196	2771	2564
	W27-27	5416	5253	158	2196	2835	2628
	W30-30	6013	5851	160	2196	2978	2770

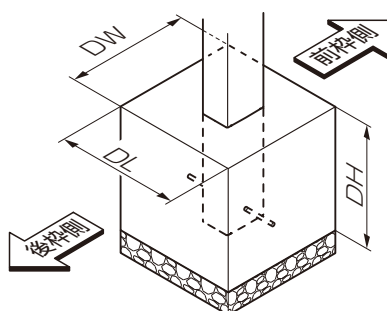


サイズ(奥行)		L1	L2	L3	A
レギュラー	L50	4980	2900	1040	706

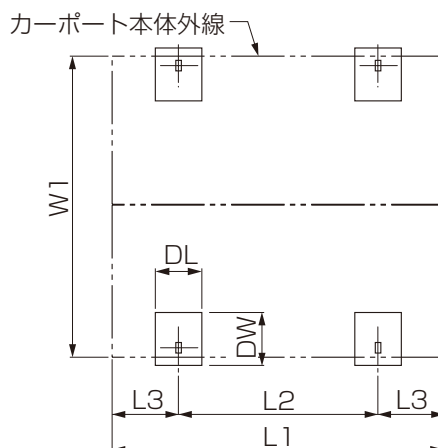
基礎の墨出し



①柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

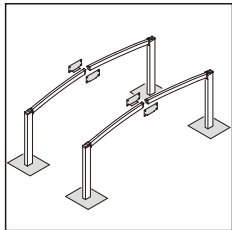


【基礎寸法数値について】
基礎寸法「DW」「DL」「DH」は「P.8」を参照してください。



1 合掌部の取付け

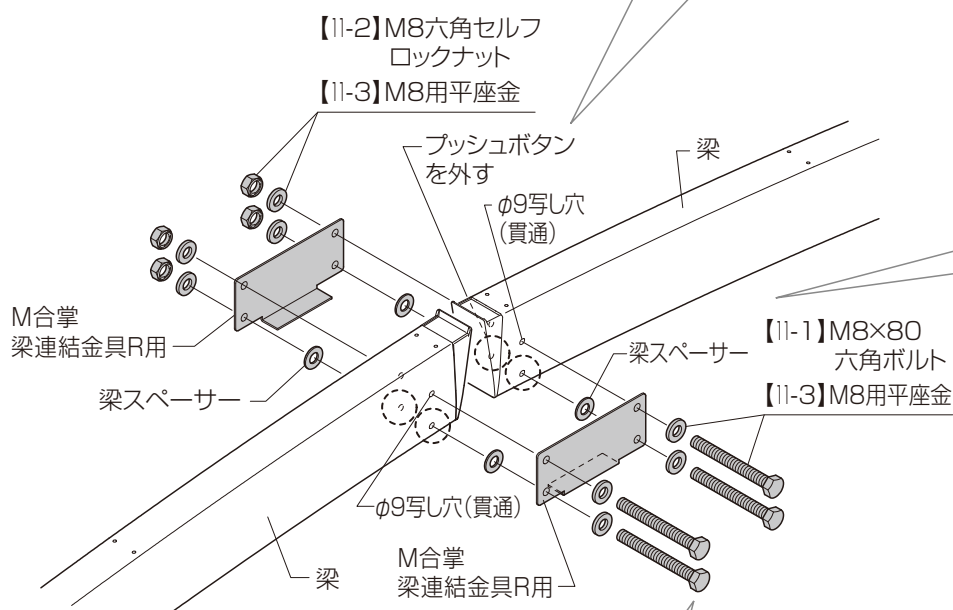
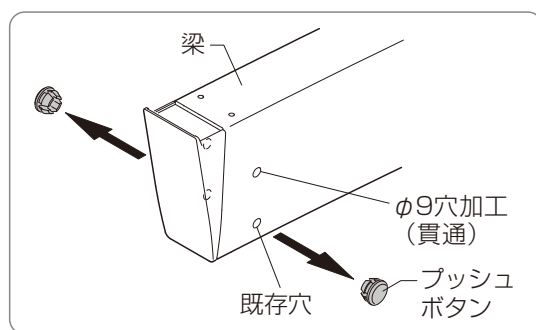
1 合掌金具の取付け



- ① 梁のプッシュボタンを外してください。
- ② 梁にM合掌梁連結金具を当てがい穴位置をケガキ、 $\phi 9$ の貫通穴をあけてください。
- ③ 梁と梁をM合掌梁連結金具R用と梁スペーサー、【II-1】～【II-3】で固定してください。

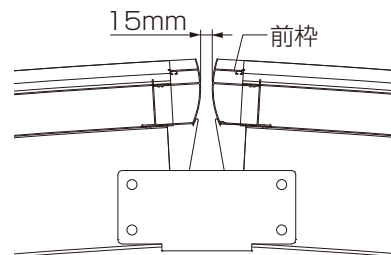
補 足

合掌部以外の取付は、「基本タイプの施工」を参照してください。



お願い

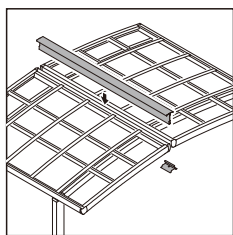
前枠と前枠の間隔が15mmであることを確認してください。



お願い

ボルトを締付ける際は 梁が変形しないように締め込みすぎないようにしてください。

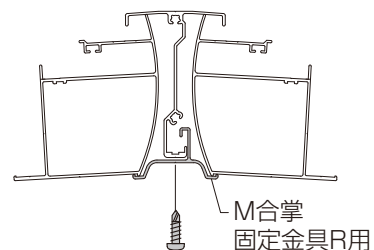
2 合掌棟木の取付け



補 足

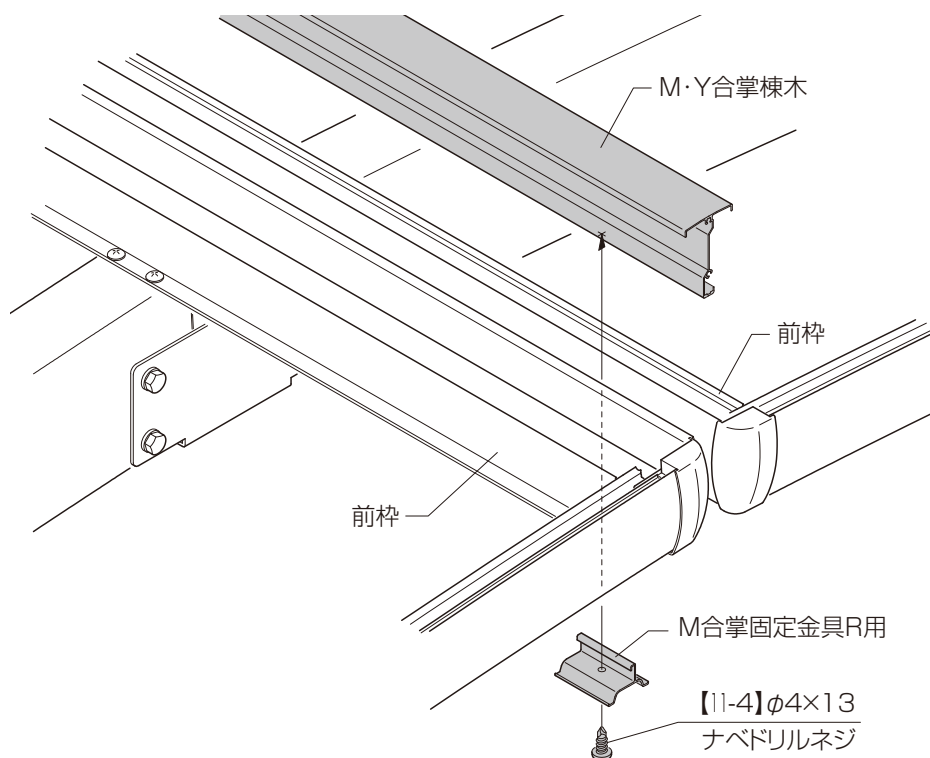
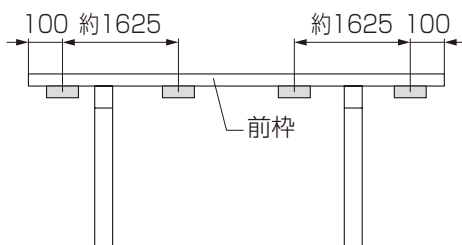
「基本タイプの施工：9 垂木の取付け」の後に本手順を行なってください。

- ①M・Y合掌棟木を前杵と前杵の間に差し込んでください。
- ②M合掌固定金具R用を勘合させて【11-4】で固定してください。

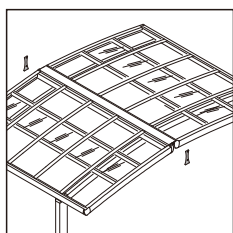


お 願 い

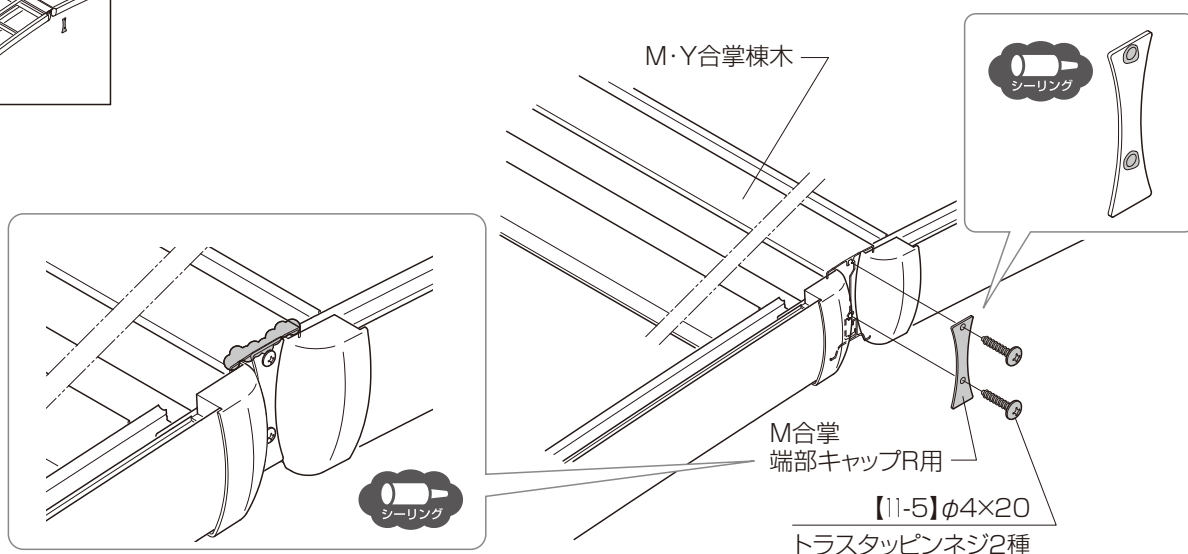
M合掌固定金具R用は図の位置に取付けてください。
固定金具取付位置に梁がある場合は、ずらして取付けてください。



3 M合掌端部キャップの取付け



- ①M合掌端部キャップR用を【11-5】で取付けてください。
- ②M合掌端部キャップR用およびM・Y合掌棟木にシーリングしてください。



Y合掌タイプの施工



【Y合掌】の場合の作業です。

Y合掌の確認事項

☐ 姿図

⚠ 注意



【柱移動】をした場合は
柱芯々寸法±100mm以内で柱移動をしてください。

補 足

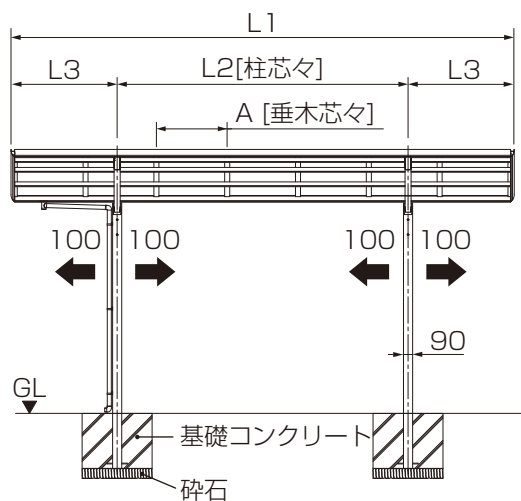
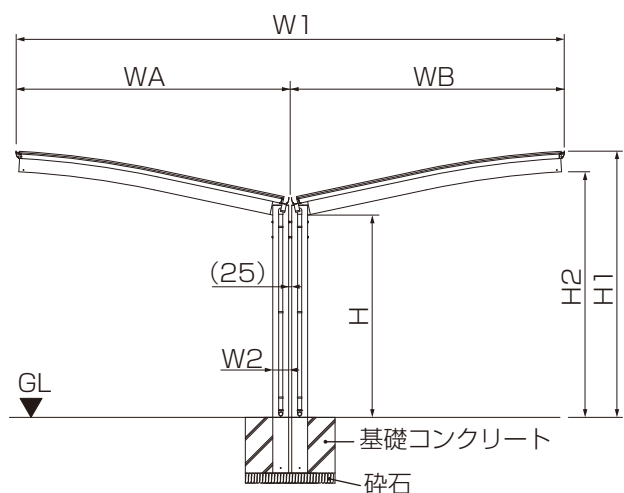
← 印は【柱移動】範囲を示します。

【ロング柱の場合】

W24~W30=H寸法に+300してください。

お 願 い

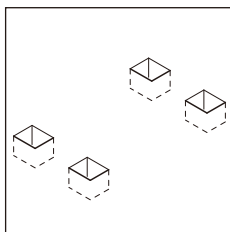
柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



サイズ(間口)		W1	WA	WB	W2	H	H1	H2
レギュラー	W24-24	4826	2413	2413	158	2196	2768	2564
	W27-27	5426	2713	2713	158	2196	2832	2628
	W30-30	6026	3013	3013	160	2196	2976	2770

サイズ(奥行)		L1	L2	L3	A
レギュラー	L50	4980	2900	1040	706

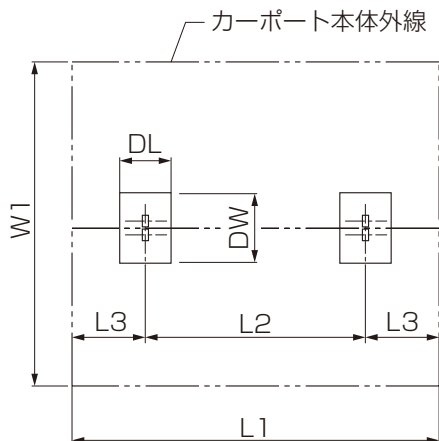
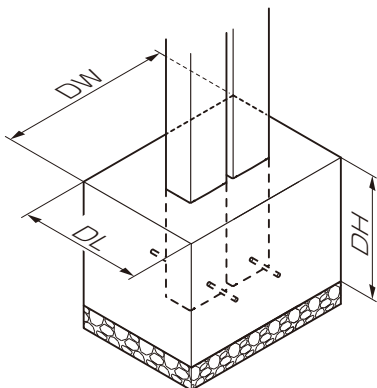
☐ 基礎の墨出し



① 柱の埋込み位置を出して、基礎穴を掘ってください。

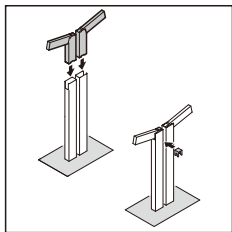
サイズ(間口)	独立基礎寸法			土間コンクリート寸法		
	DW	DL	DH	DW	DL	DH
W24-W24	800	600	550	600	300	550
W27-W27	800	600	550	600	300	550
W30-W30	900	700	550	600	300	550

※DW・DL中心位置が柱芯となります。



1 合掌部の取付け

1 柱連結金具の取付け



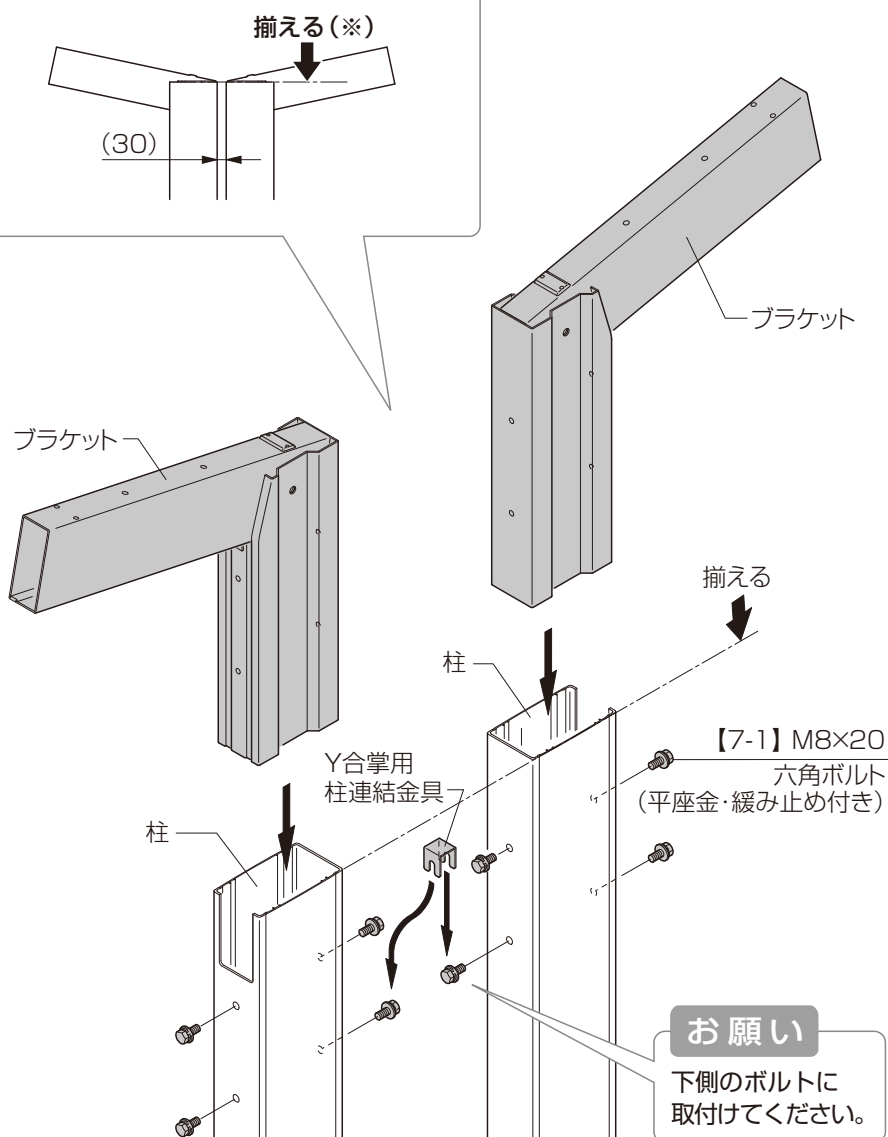
- ① ブラケットを柱に差込み【7-1】で固定してください。
- ② 合掌面側の【7-1】を軽く緩めてください。
- ③ Y合掌用柱連結金具を【7-1】のすき間に差込み、本固定してください。

補 足

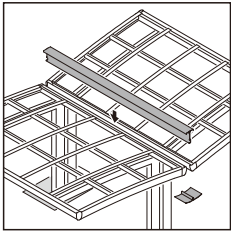
合掌部以外の取付は、「基本タイプの施工」を参照してください。

お 願 い

- ・ 柱と柱のすき間は約30mmにしてください。
- ・ 柱の上面は同一高さにしてください。



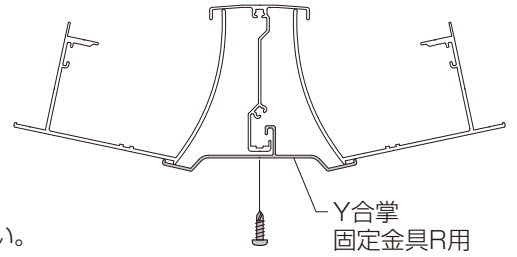
2 合掌棟木の取付け



補 足

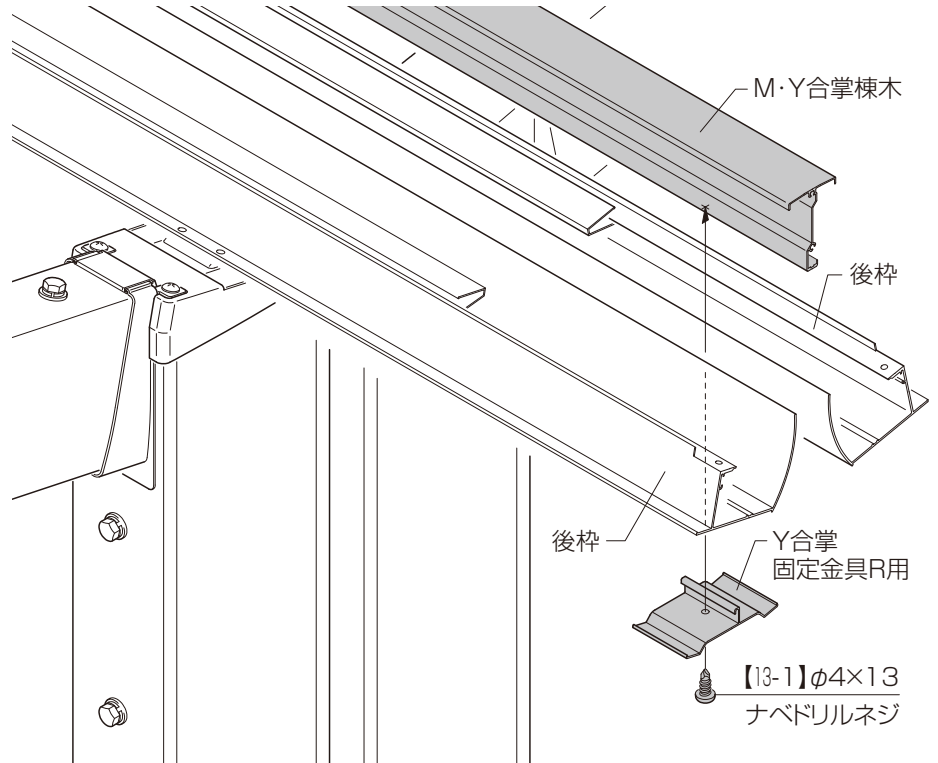
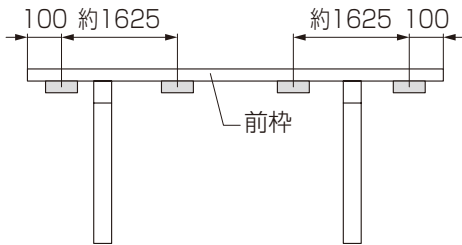
「基本タイプの施工：9 垂木の取付け」の後に本手順を行ってください。

- ①M・Y合掌棟木を後杵と後杵の間に差し込んでください。
- ②Y合掌固定金具R用を勘合させて【13-1】で固定してください。

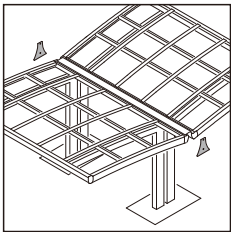


お 願 い

Y合掌固定金具R用は図の位置に取付けてください。
固定金具取付位置に梁がある場合は、ずらして取付けてください。



3 Y合掌端部キャップの取付け



- ①Y合掌端部キャップR用を【13-2】で取付けてください。
- ②Y合掌端部キャップR用およびM・Y合掌棟木にシーリングしてください。

